DCS & Labeling

株式会社 サトー

http://www.sato.co.jp

MT400eシリーズ

取扱説明書

このたびは、当社バーコードプリンタMT400eシリーズをお買い求めいただきまして、ありがとうございました。
本書は、はじめてMT400eシリーズをお使いになる方が、短期間で基本的な操作を習得していただくことを目的としています。
本書をよくお読みいただき、MT400eシリーズの機能をフルに使いこなしてください。

■安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ I
■設置及び取扱い上の注意 ・・・・・・・・・・ 1
■箱から出しましょう ・・・・・・・・・・・・・・ 2
■各部の名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
■用紙のセット ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
■オプションタイプのセット ・・・・・・・13
■電源を入れてみましょう ・・・・・・・・・18
■動かしてみましょう ・・・・・・・・・・・・・21
■あれ？どうしたのかな？ ・・・・・・・・・41
■オプションについて ・・・・・・・・・・・・・48
■毎日のお手入れ ・・・・・・・・・・・・・・・・50
■基本仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・51
■アフターフォローについて ・・・・・・・53

サトー純正品サプライを必ずご使用ください。

安全上のご注意

本章では、プリンタのご使用時における安全について記載しております。
プリンタをご使用になる前に必ずよくお読みください。

▲絵表示について

この取扱説明書やプリンタの表示では、プリンタを安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への被害や財産への被害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解して、本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例

△ 記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠ 記号は「してはいけないこと」を意味しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は「しなければならないこと」を意味しています。図の中に具体的な内容指示（左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください。）が描かれています。

⚠ 警 告

■不安定な場所に置かない

- ぐらついた台の上や傾いた所、振動のある場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、ケガの原因になります。

■水などの入った容器を置かない

- プリンタの周辺に花ビン、コップなど水や薬品の入った容器や小さな金属物を置かないでください。万一、こぼしたり、中に入った場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラー又はサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■内部に異物を入れない

- プリンタの開口部（ケーブルの出口やメモリカード取付口など）から金属物や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。万一、内部に異物が入った場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラー又はサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

■指定以外の電圧は使用しない

- 指定された電源電圧（AC100V）以外は、使用しないでください。火災・感電の原因になります。

第1版　2001年10月1日

⚠ 警告

■必ずアース線を接続して

•必ずプリンタのアース線をアースへ接続してください。アース線を接続しないと感電の原因になります。

■電源コードの取り扱いについて

•電源コードを傷つけたり、破損、加工したりしないでください。又、重いものを乗せたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

•電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店、ディーラー又はサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

•電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

■落としたり、破損したときは

•プリンタを落としたり、破損した場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラー又はサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

■異常な状態で使用しない

•万一、プリンタから煙がでている、変な臭いがするなどの異常が発生したまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラー又はサービスセンターに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

■分解しないでください

•プリンタの分解や改造をしないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店、ディーラー又はサービスセンターにご依頼ください。

■カッタについて

•カッタに手やものを入れないでください。ケガをする恐れがあります。

■ヘッド清掃液の取り扱いについて

•ヘッド清掃液は、火気厳禁です。加熱したり、火の中に放り込むことは、絶対に行わないでください。

•お子様が間違って飲み込まないように手の届かないところに保管してください。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医者と相談してください。

⚠ 注意

■湿度が高い場所に置かない

•プリンタを湿度の高い場所、結露する場所に置かないでください。結露した場合は、速やかに電源スイッチを切り、乾くまで使用しないでください。結露したまま使用すると、感電の原因となります。

■持ち運び

•移動されるときは、必ず電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜き、外部との接続線を外したことを確認の上、行ってください。外さないまま移動すると、コード、接続線が傷つき火災・感電の原因になります。

•用紙をセットしたまま、プリンタを持ち運ばないでください。用紙が落ち、ケガをする恐れがあります。

•プリンタを床や台の上などに置く場合、プリンタの足に指や手を挟まないように注意してください。

⚠ 注 意

■電源

・濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電する恐れがあります。

■電源コード

・電源コードに熱器具を近付けないでください。熱器具を近付けた場合電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因になります。

・電源コードをコンセントから抜くときは、必ず、プラグを持って抜いてください。電源コードを持って抜いた場合芯線の露出や断線し、火災・感電の原因になることがあります。

■カバー

・カバーの開閉には、指を挟まないように注意して行ってください。
又、カバーが滑り落ちないようにしっかりと持って行ってください。

■サーマルヘッド

・印字後のサーマルヘッドは、高い温度になっています。印字直後の用紙の交換、清掃は、火傷をしないように注意して行ってください。

・サーマルヘッドの端を素手で触るとケガをする恐れがあります。用紙の交換、清掃は、ケガをしないように注意して行ってください。
・お客様によるサーマルヘッドの交換は、行わないでください。ケガ、火傷及び感電の恐れがあります。

■サーマルヘッドの開閉

・サーマルヘッドの開閉には、用紙以外の異物を挟まないように注意して行ってください。ケガ、破損の原因になることがあります。

■用紙のセット

・ロール紙をセットするとき、用紙と供給部の間に指を挟まないように注意して行ってください。

■簡易カッタ

・刃物の構造をしています。手を切らぬように注意してください。

■長期間ご使用にならないとき

・プリンタを長期間ご使用にならないときは、安全のため電源コードの抜き差しプラグをコンセントから抜いてください。

■お手入れ・清掃のとき

・プリンタのお手入れや清掃を行うときは、安全のため電源コードの抜き差しプラグをコンセントから抜いてから行ってください。

ご 注 意

（1） 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
（2） 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
（3） 本書の内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、購入されました販売店ディーラーへご連絡ください。
（4） この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

設置及び取り扱い上の注意

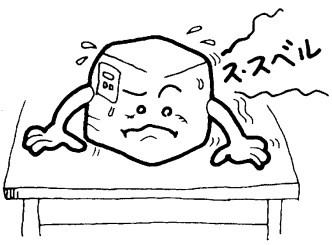
つぎのことに注意して、設置、取り扱いをおこなってください。

▲設置場所について

つぎのことに注意して、本機を設置してください。

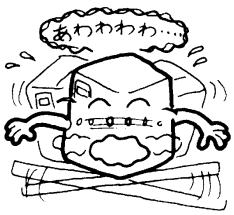
水平な場所に置いて

設置する場所が、でこぼこや斜めの場合、きれいな印字ができません。また、故障の原因になり、プリンタの寿命を短くする恐れがあります。



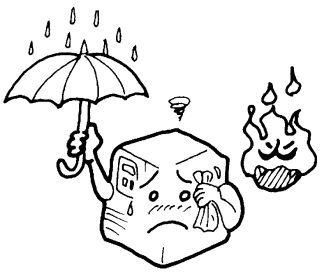
振動のある場所はやめて

振動のある場所には設置しないでください。また、ロール紙をセットしたままプリンタを運んだり、大きな振動を与えないでください。



高温・多湿に注意して

温度・湿度が高くなる場所に設置しないでください。
温度・湿度が高くなりますと故障の原因になります。

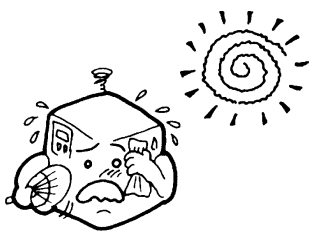


ほこりを避けて

ほこりがつくときれいに印字できなくなることがあります。また、故障の原因になるだけでなく、製品の寿命を短くする恐れがあります。

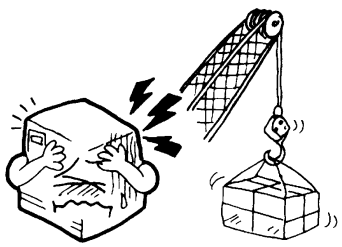
直射日光はきらいです

本機は光学センサーを内蔵していますので、直射日光が当たるとセンサーが誤作動を起こすことがあります。印字するときは必ずカバーを閉じてください。



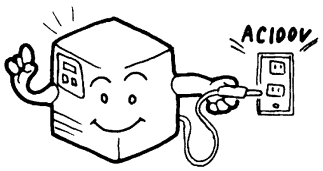
クレーンやプレス機などのそばには置かないで

クレーンやプレス機など大容量の電気を使う機器は、電気ノイズや電源の電圧低下を起こす原因になります。本機の誤動作や故障のもとになりますので、これらの機器のそばに本機を置かないでください。



▲電源について

本機は、AC100Vの交流電源が必要です。

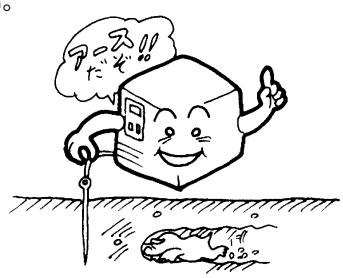


電圧の低下などの変動が少ない電源から電気を供給してください。

ヒーターや冷蔵庫などの消費電力の大きい電気製品と同じ電源や、その近くの電源から電気を供給しないでください。電源の電圧の低下などにより誤動作を起こすことがあります。

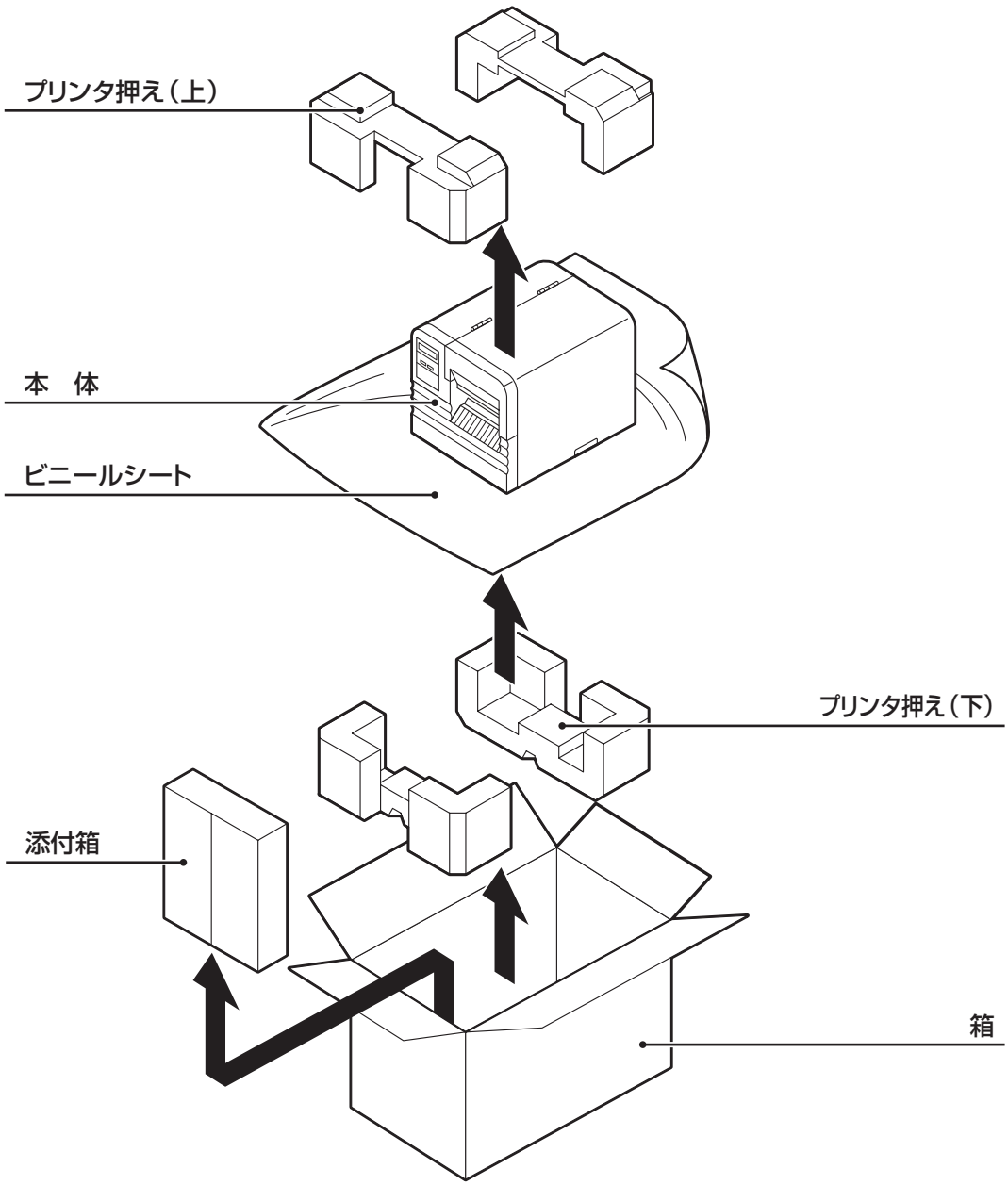
必ずアース線を接続してください。

アース設備がない場合は、アース設備工事をおこなってください。



箱から出しましょう

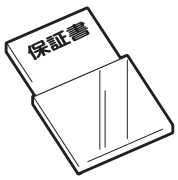
本機を箱から出して設置します。
それでは箱を開けましょう。



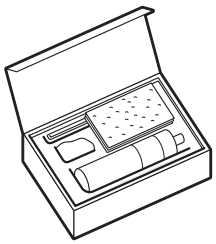
※緩衝材（プリンタ押えのプロテクタパット等）の形状が
一部異なる場合があります。

添付品の確認

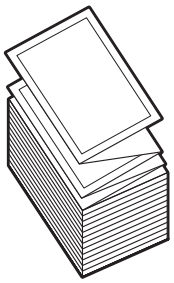
箱を開けたら、つぎの添付品が揃っているか確認してください。
もし、足りないものがありましたら、購入されました販売店・ディーラーまでお問い合わせください。



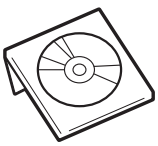
保証書（ビニールホルダー付き）



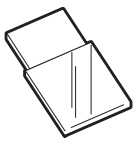
ヘッドクリーニングセット



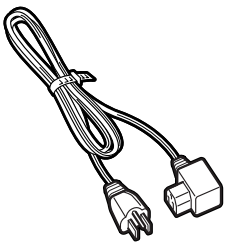
テスト用ラベル



アクセサリCD-ROM



ヘッドクリーニングシート
（ラッピングシート）



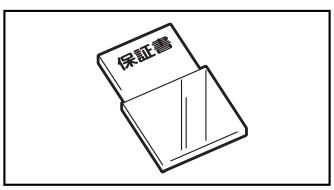
電源コード

取扱説明書

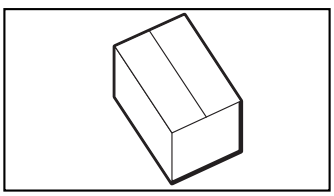
セットアップガイド

2極アダプタ

▲保証書と箱は大切に



本機は、正常なご使用のもとにおける故障については、納入日より6カ月間を保証期間として無償修理いたします。修理をご依頼いただくとき、添付の保証書が必要です。保証書は大切に保管してください。万一、保証書を紛失されたときは、修理が有償となりますのでご了承ください。

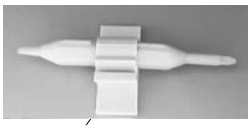


また、本機を梱包していた箱とプリンタ押え（上下、各2個）も保管してください。修理をご依頼いただくときに、この箱に本機を梱包して送っていただきます。

各部の名称

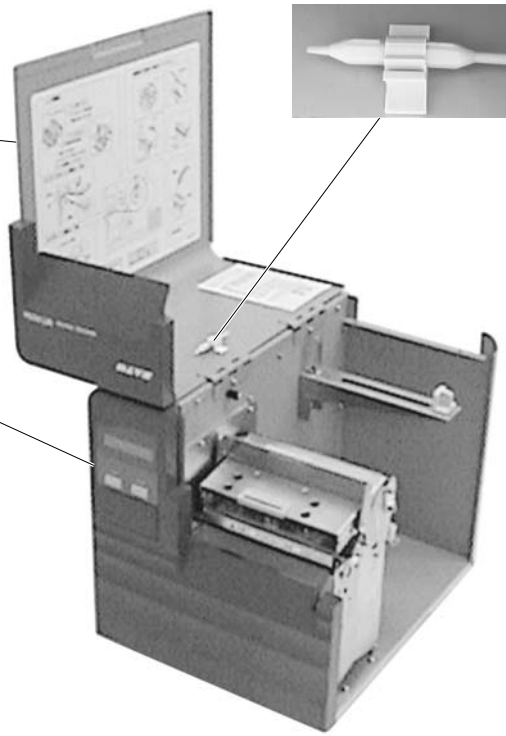
▲プリンタ本体

ボリューム調整用ドライバ



メインカバー

操作パネル部
操作をおこなう2つのキーと
3つの調整用ボリュームがあります。



インタフェースボード
オプションのインタフェースボードにより
インタフェースを変更することができます。

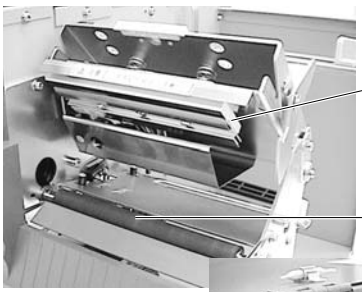
カードスロット

電源スイッチ
本機の電源を入れるとき、切るときに
使用します。
－側に押すと電源が入ります。
O側に押すと電源が切れます。

ラベルストッパー
ロール紙を固定します。

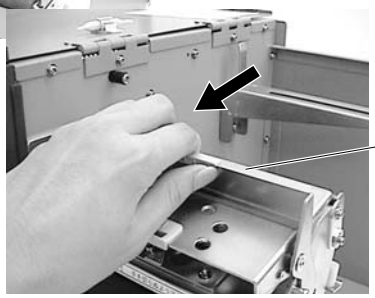
供給ブラケット
ロール紙をかけるブラケットです。

スライドローラ
用紙の横幅を固定します。



サーマルヘッド（消耗部品）
用紙に印字する部分です。

プラテンローラ（消耗部品）
印字した用紙を送り出します。



ラッチレバー
サーマルヘッドのロックを解除します。

EXTコネクタ
外部信号インタフェース

AC入力電源端子（電源コンセント）
電源コードを差し込み、本機に電源を供給します。

▲操作パネル部

操作メッセージやエラーメッセージが表示されます。
メッセージは、半角サイズの英数字で表示されます。

ディスプレイ
エラーメッセージ、操作メッセージを表示します。

LINE ラインキー
印字のスタート・ストップ及びデータ送受信のオン・オフを切り替えます。

FEED フィードキー
用紙の紙送りをします。1回押すと1枚分の用紙を送り出します。
※電源をON、用紙をセットしたときなど用紙が正規位置にない場合があります。
このような場合には、FEEDキーを必ず押して用紙を正規位置に合わせてください。

ディップスイッチ
プリンタの動作及び印字条件を設定します。
※ディップスイッチ（DSW2、3）の設定は、「動かしてみましょう」を参照してください。

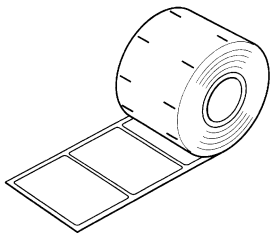
調整用ボリューム
サービス調整用のボリュームです。
特に指示のない限り変更しないでください。
PRINT　：印字濃度調整用
OFFSET：カッタ、ハクリ、ティアオフ位置調整用
PITCH　：ピッチ調整用

用紙のセット

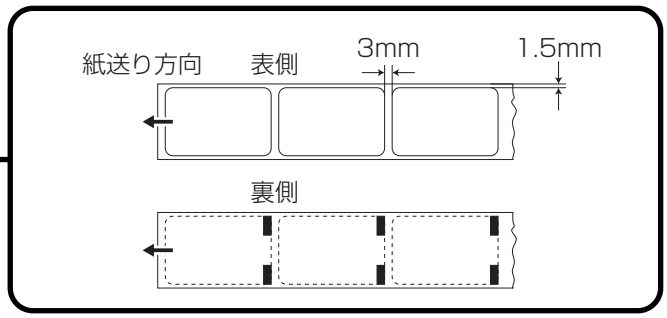
本機はロール紙・ファンフォールド紙の用紙に印字することができます。
ロール紙とファンフォールド紙では、用紙のセットのしかたがちがいます。

本機の用紙は、当社製品をお使いください。
規格以外の用紙は使用しないでください。

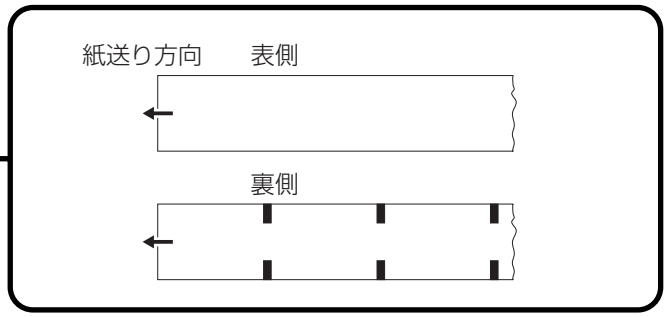
ロール紙



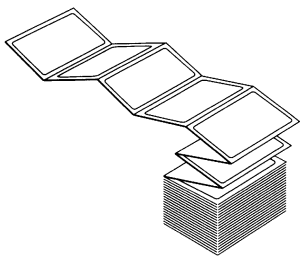
カストリ紙



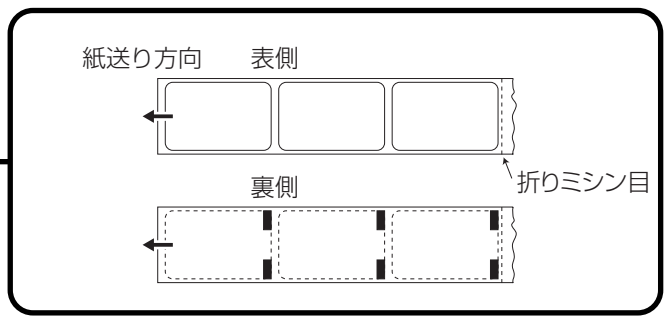
厚紙



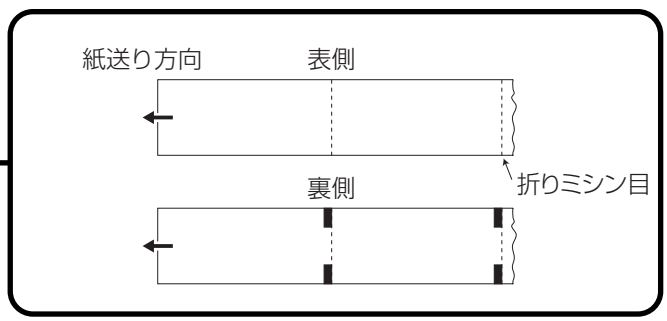
ファンフォールド紙



カストリ紙

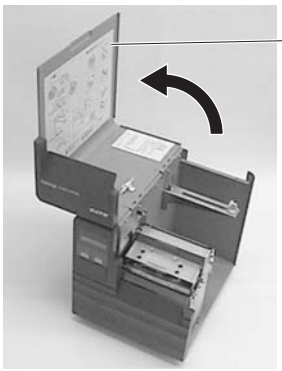


厚紙

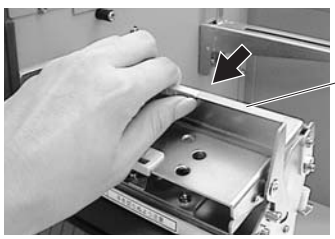


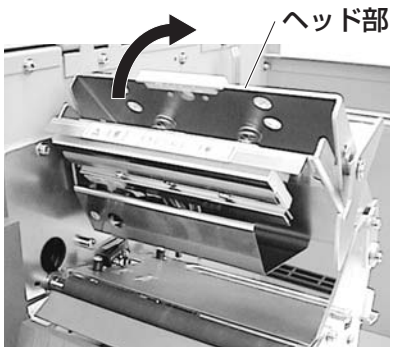
ロール紙のセット

1 メインカバーを開きます。

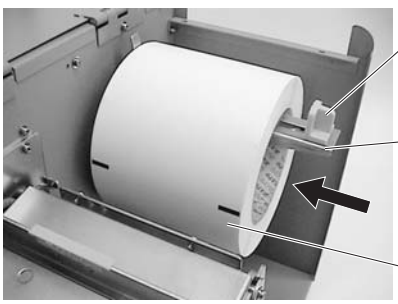


2 ラッチレバーを、矢印方向に引きます。
ヘッド部が、自然に持ち上がります。





3 ラベルストッパーを、手前に引きます。
供給ブラケットに、用紙をセットします。

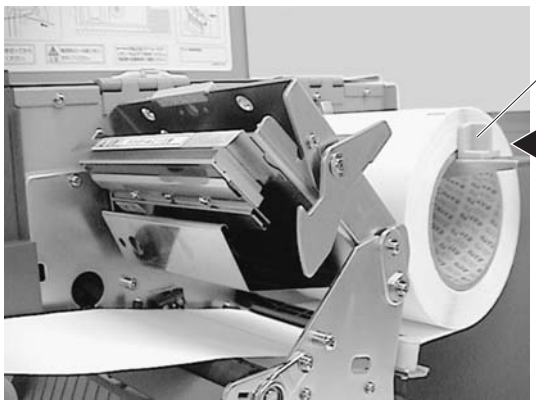


⚠ 注意

- 印字終了直後のサーマルヘッドとその付近は、高い温度になっています。印字直後の用紙の交換は、火傷しないように注意して行ってください。
- サーマルヘッドの端に素手で触れるとケガする恐れがあります。用紙交換は、ケガをしないように注意して行ってください。

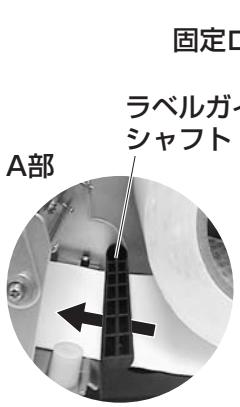
4

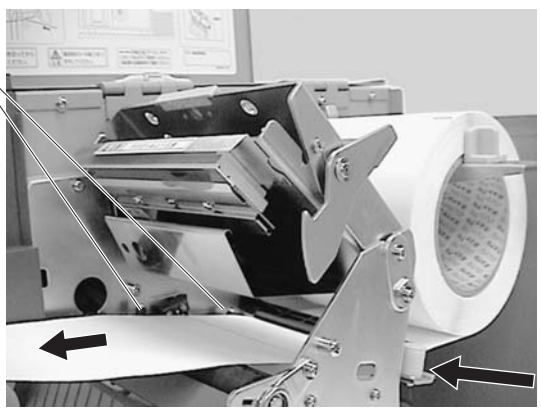
ラベルストッパーを軽く押して、用紙の端が軽く触れるようにします。



5

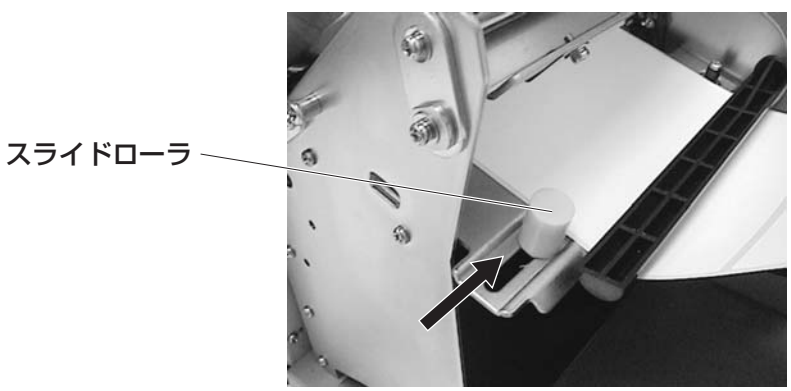
用紙の先端を、ヘッド部の下に通します。A部のラベルガイドシャフトの下を通し、奥側の2本の固定ローラに、用紙の端が接するようにセットします。





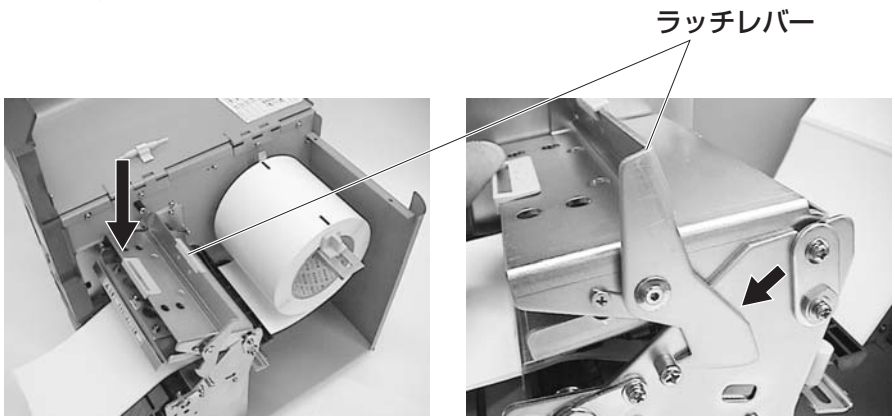
6

スライドローラを押して、用紙の端に軽く触れるようにします。



7

ヘッド部を強く押しさげます。カチッと音がして、ラッチレバーが固定されたことを確認してください。



8

メインカバーを閉めるとき、指をはさまないように、取手を持って閉めてください。

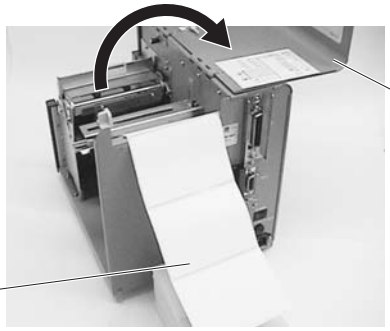
⚠ 注意

メインカバーを閉めるときは、メインカバーに指をはさまないように注意して行ってください。

ファンフォールド紙のセット

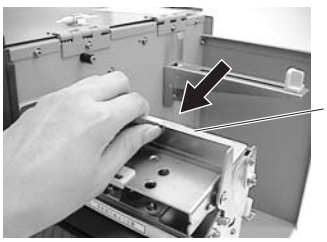
1

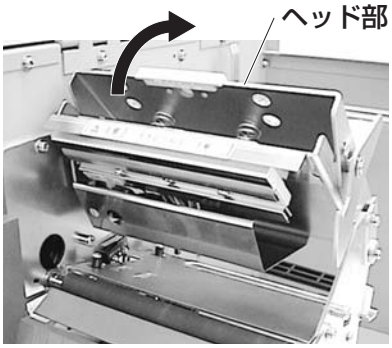
メインカバーを開けます。



2

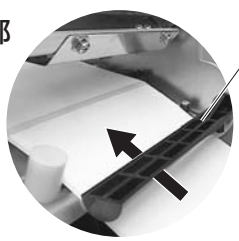
ラッチレバーを、矢印方向に引きます。
ヘッド部が、自然に持ち上がります。

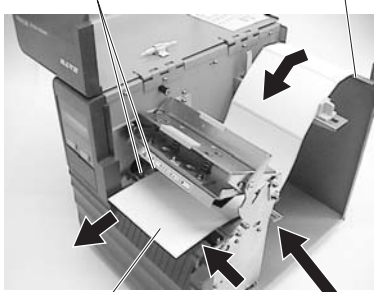




3

用紙を外部用紙供給口から通します。次に用紙の先端を、ヘッド部の下に通します。A部のラベルガイドシャフトの下を通し、奥側の2本の固定ローラに、用紙の端が接するようにセットします。



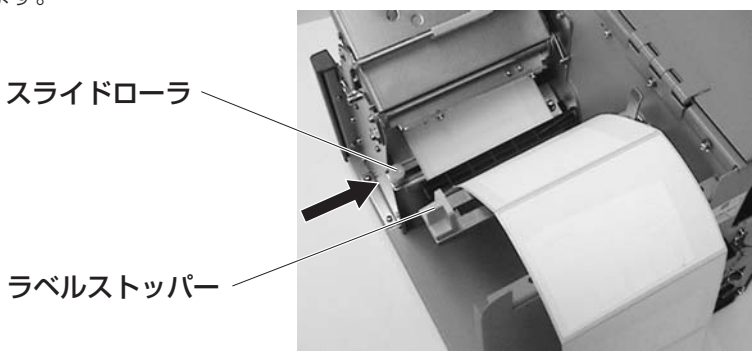


⚠ 注意

- 印字終了直後のサーマルヘッドとその付近は、高い温度になっています。印字直後の用紙の交換は、火傷しないように注意して行ってください。
- サーマルヘッドの端に素手で触れるとケガする恐れがあります。用紙交換は、ケガをしないように注意して行ってください。

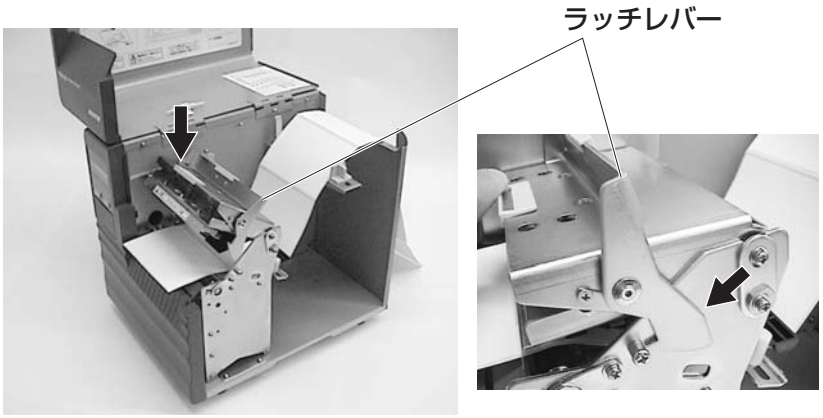
4

スライドローラ及びラベルストッパーを軽く押して、用紙の端に軽く触れるようにします。



5

ヘッド部を強く押し下げます。カチッと音がして、ラッチレバーが固定されたことを確認してください。



6

メインカバーを閉めるとき、指をはさまないように、取手を持って閉めてください。

⚠ 注意

メインカバーを閉めるときは、メインカバーに指をはさまないように注意して行ってください。

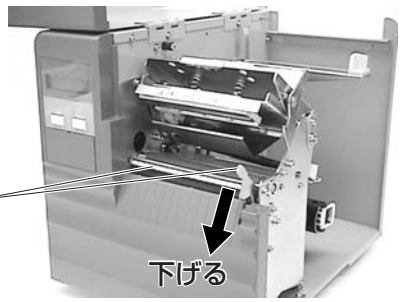
オプションタイプのセット

ハクリユニット

▲用紙のセット

1 メインカバーをオープンします。
ロール紙のセットの1項を行います。

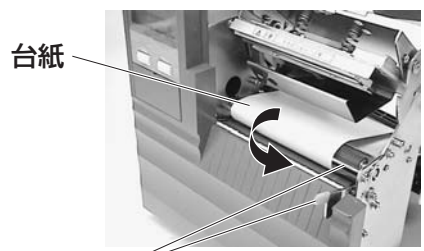
2 ハクリユニットを開きます。

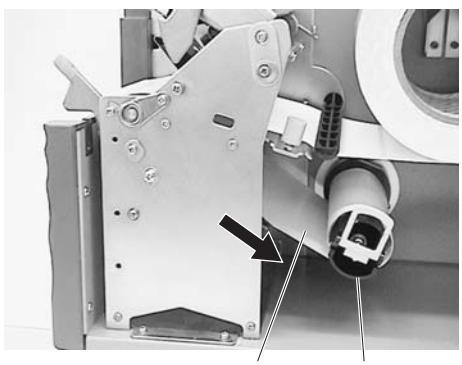


3 用紙をセットします。
ロール紙のセットの2～6項を行います。

4 約30cm分のラベルを台紙からはがします。

5 下図のように台紙を台紙巻き取り部に巻きつけます。

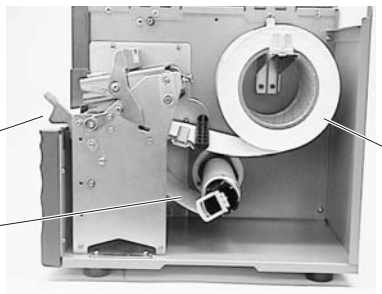




6 サーマルヘッドを閉じます。
ロール紙のセットの7項を行います。

7 ハクリユニットを閉じます。

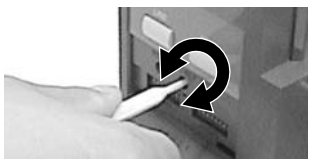
8 メインカバーを閉めます。
ロール紙のセットの8項を行います。



▲停止位置の調整

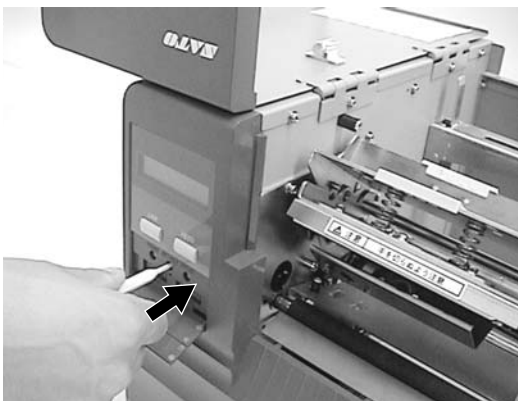
ハクリ時のラベル停止位置は、ラベルを2～3mm台紙に残す位置が正規の停止位置となります。ラベルの停止位置が規定の位置にない場合、操作パネルの調整用ボリュームの「OFFSET」を調整します。

印字方向に対し後



印字方向に対し前

（ボリューム調整用ドライバを使用してください。）



★注意事項

1. 台紙の厚さにより使用できない場合があります。
2. ハクリ時の印字精度は、V（縦）方向±1.5mm、H（横）方向±1.0mmです。
3. ハクリユニットは、ラベルピッチ25～356mmまで有効です。
   但し、使用条件によってラベルサイズを規制する場合があります。
4. 台紙巻き取りは75m（巻き取り外径φ90以下）をこえると巻き取りできません。
5. 長期間台紙の巻取りを続けますと、内部にある部品の摩耗により動作できなくなります。部品の交換が必要となりますので、販売店、ディーラーまたはサービスセンターへご連絡ねがいます。

カッタユニット

▲用紙のセット位置

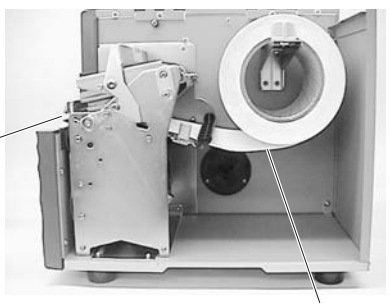
1 メインカバーをオープンします。
ロール紙のセットの1項を行います。

2 用紙をセットします。
ロール紙のセットの2～6項を行います。

3 プラテンローラの上に用紙の先端をセットします。

4 サーマルヘッドを閉じます。
ロール紙のセットの7項を行います。

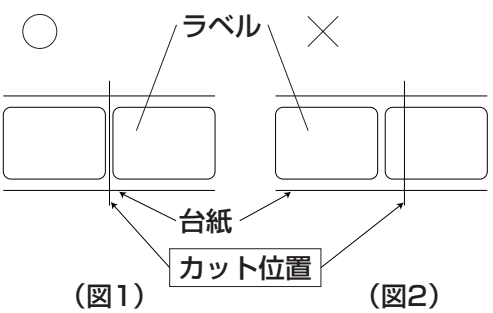
5 メインカバーを閉めます。
ロール紙のセットの8項を行います。



カット位置の調整

▲ラベルのカット

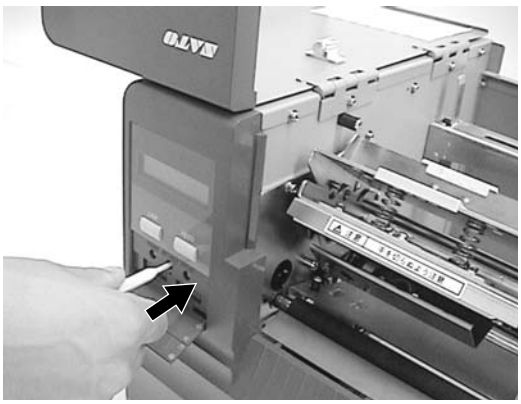
ラベル使用時のカット位置は、ラベルとラベルの間、カストリ（台紙のみの部分）が正規のカット位置となります。



（図1）　（図2）

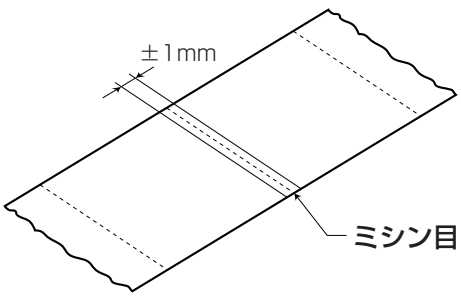
カット位置が正規の位置にない場合、操作部の調整用ボリュームの「OFFSET」を調整します。
ラベルのカットは、糊がカッタ刃に付いて切れを悪くしますので、絶対に避けてください。

（ボリューム調整用ドライバを使用してください。）



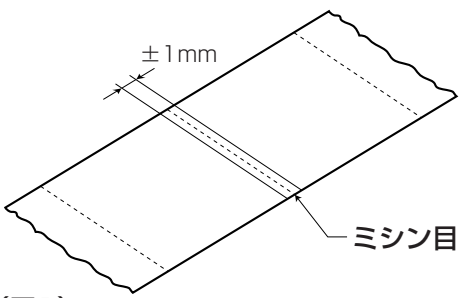
▲ミシン目のある用紙のカット

ミシン目のある用紙は、ミシン目の±1mmはカット禁止領域です。
ミシン目の±1mm以内をカットしている場合、操作部の調整用ボリュームの「OFFSET」を調整します。

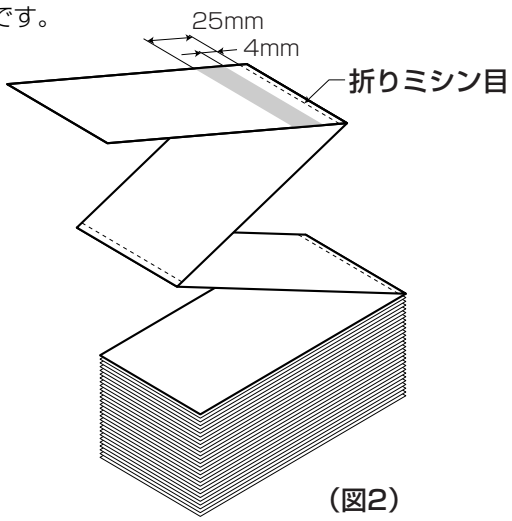


以下の項目は使用する用紙に関するカッタの性能ですので、使用する前にご確認願います。

①カット精度は±1.5mmです。
②用紙厚さ（台紙含）は0.08mm～0.21mmです。
③カットピッチが25mm～359mmまで有効です。
④ミシン目の±1mmはカット禁止領域（図1）です。
⑤ファンフォールド紙折りミシン目の+4mm～
　+25mmはカット禁止領域（図2）です。



（図1）



（図2）

カッタの交換

カッタを使用していきますと、切れが悪くなりカット面がケバ立ちます。
このような状態になりましたら、カッタユニットの交換が必要です。
その際は、販売店、ディーラまたはサービスセンタにご連絡ください。

★注意事項

1. カットできる厚さは、0.08mm～0.21mmです。
   詳しくは、販売店またはディーラまたはサービスセンタにお問い合わせください。
2. カット精度は、±1.5mmです。
3. カッタユニットは、カットピッチが25～359mmまで有効です。
   但し、使用条件によってはカットサイズを制限する場合があります。
4. ミシン目の±1mmは、カット禁止領域です。

セットしたら確認してください

用紙をセットしたら、つぎのことを確認してください。

＊用紙は、きちんとセットしていますか。

＊用紙の種類は合っていますか。

＊ヘッド部は閉じられていますか。

＊カバーは閉まっていますか。

電源を入れてみましょう

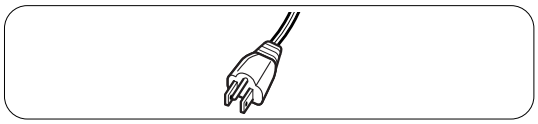
用紙のセットが終ったら、電源コードのセット手順を説明します。

電源のセット

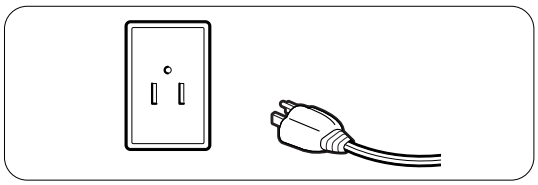
設置が終ったら、つぎのように電源をセットします。

▲電源コードとコンセント

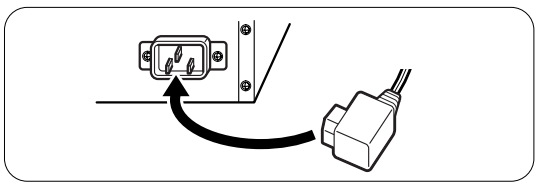
添付の電源コードのプラグの形は、イラストのように3極タイプになっています。



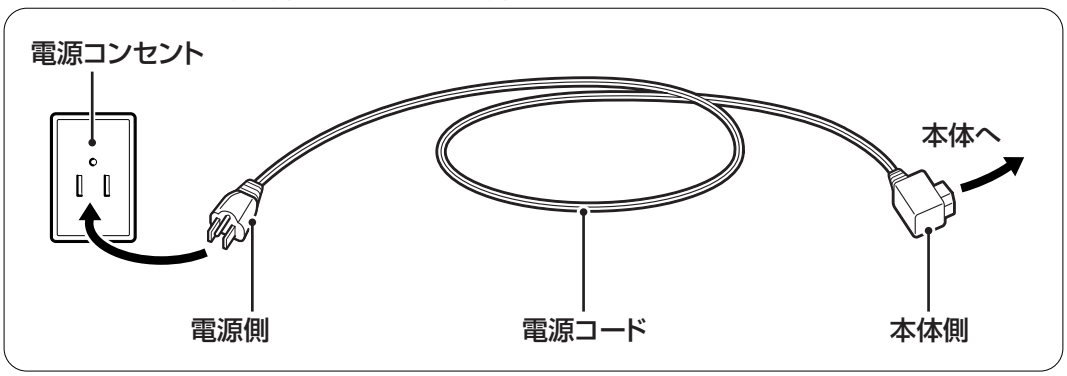
3極タイプのコンセントは3本の足のうち1本がアース用です。
電源コンセントが3極のときは、そのまま電源コードを差し込んでください。



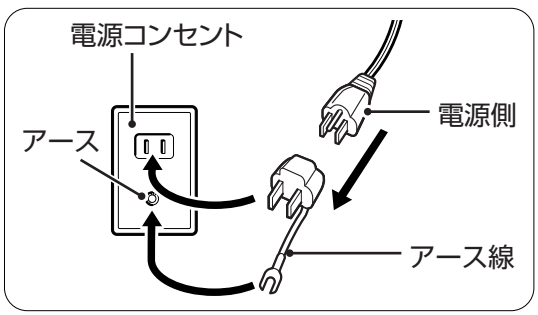
電源コードのコンセントを差し込むときは、コンセントの上下を確認してください。
本体に差し込むときは、本体を片手で押さえて差し込んでください。



添付の電源コードを本体側、電源コンセント側の順に差し込みます。



電源コンセントが2極タイプのときは、添付の2極アダプタを使い電源コンセントに差し込んでください。



⚠ 警告

必ずアース線をアースに接続してください。アース線を接続しないと感電の原因となります。

電源を入れてみましょう

電源スイッチを入れます。「−」と書いてある側を押してください。

電源を入れると、ディスプレイにつぎのように「ONLINE」と表示されます。

```
ONLINE
        QTY:000000
```

注意

濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。
感電する恐れがあります。

あれ？おかしいな

今までおこなった準備が正しくできていないときは、ディスプレイに「ONLINE」と表示されません。準備が正しくできていないときは、ディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージが、表示されたときは（詳しくは「あれ？どうしたのかな？」を参照してください）、準備をし直してください。

電源を切りましょう

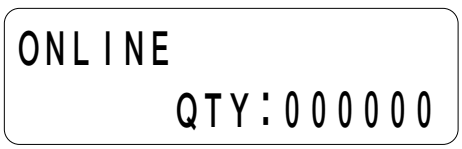
本機が正常に動いたことを確認したら、電源を切ってみましょう。
いきなり電源を切らないで、電源を切ってもよいかつぎのことを確認しましょう。

▲電源を切る前に確認してください

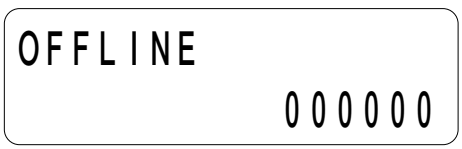
必ずつぎのことをおこなってから、電源を切ってください。

オフライン状態にする

本機の電源を切るときは、オフライン状態になっていることを確認してください。
ディスプレイにつぎのように「ONLINE」と表示されているときは、オンライン状態になっています。



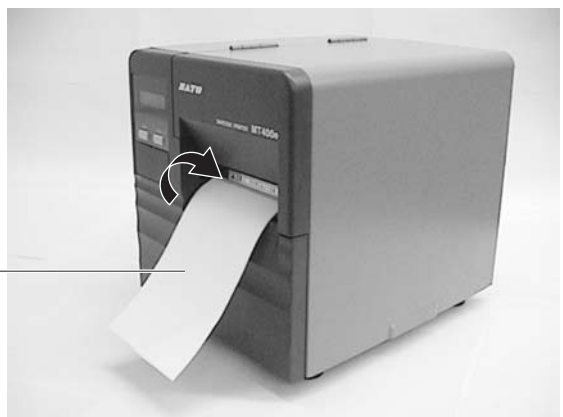
オフライン状態にします。LINEキーを押します。ディスプレイに、つぎのように「OFFLINE」と表示されます。



FEEDキーを押すと用紙が送り出されます。
送り出された用紙を切り取ってください。

用紙の切り取りかた

用紙の両端を持って、ななめ上に
軽く引っ張ります。



ラベル
（矢印のように
少しひねる）

動かしてみましょう

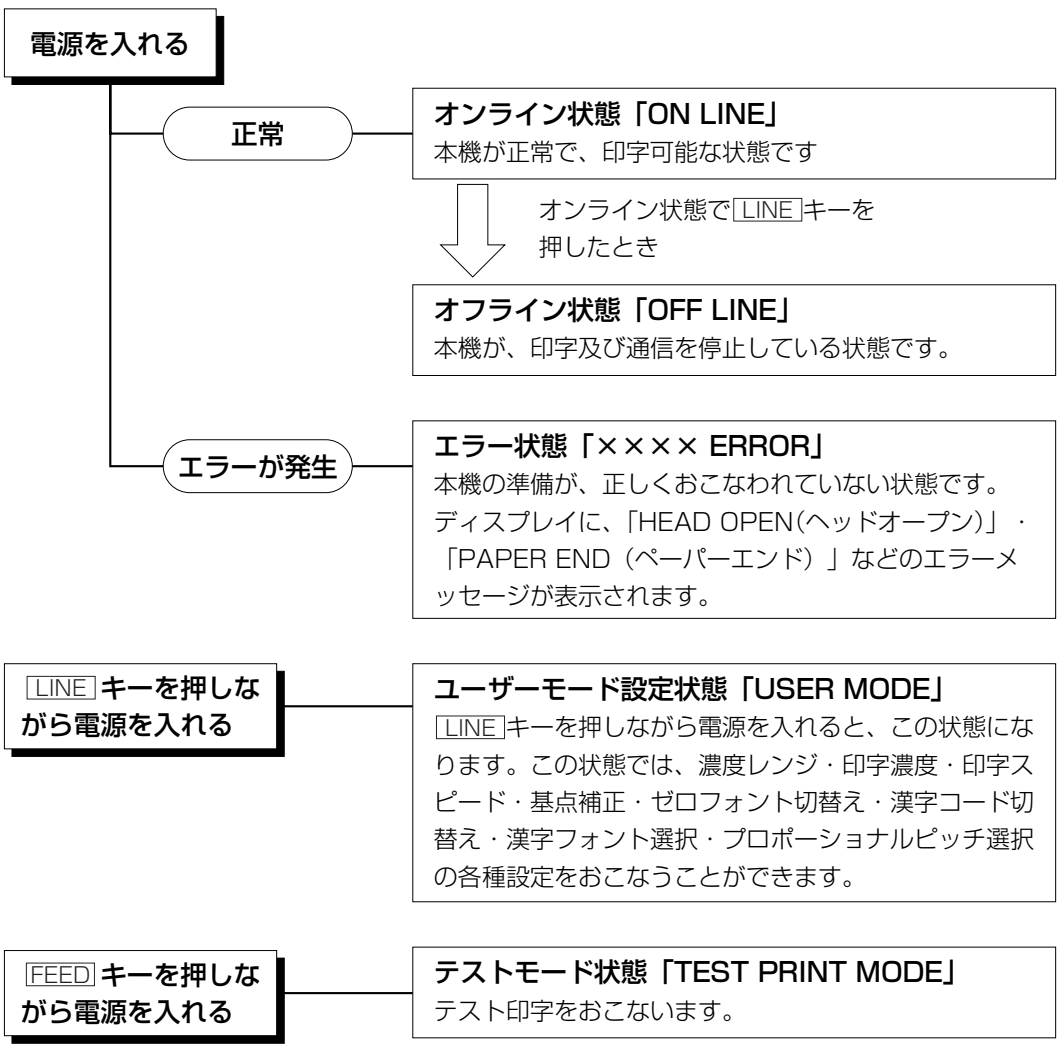
本機を動かしてみましょう。本機を動かすのに必要な操作のしかたや知識を覚えてください。

動かしてみる前に

本機を本格的に動かしてみる前に、操作の流れを説明します。
本機は、操作パネルにある2つのキーで、簡単に操作できます。
5 つの状態から、いろいろな操作をおこないます。

▲操作の流れ

本機はオンライン・オフライン・エラー・ユーザーモード・テストモードの 5 つの状態から操作をおこないます。
5 つの状態と操作の流れをよく理解してください。



詳しい操作

本機の詳しい操作のしかたを説明します。

▲オンライン操作

本機がオンライン状態のとき、つぎの操作ができます。

【操作のしかた】

○本機に接続したコンピュータからデータを送り、印字動作をスタートさせます。
○LINEキーを押して、オフライン状態に切りかえたり、印字を中断することができます。

オンライン状態

本機が正常な状態で、印字可能な状態です。
ディスプレイに、つぎのように表示されます。

```
ONLINE
       QTY:000000
```

▲オフライン操作

本機がオフライン状態のとき、つぎの操作ができます。

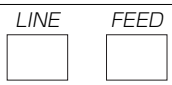
【操作のしかた】

○LINEキーを押すと、オンライン状態に切りかわります。
○FEEDキーを押して、用紙送りをします。

オフライン状態

本機が印字停止している状態です。ディスプレイに、つぎのように表示されます。

```
OFFLINE
             000000
```



▲印字キャンセル操作

本機が印字動作中に、LINEキーを押して印字を中断しているとき、印字データ及び受信バッファをクリアする操作ができます。

【操作のしかた】

○印字動作中にLINEキーを押してオフライン状態に切りかえます。
○LINEキーを押しながら、FEEDキーを押します。
　ディスプレイにつぎのように表示されます。

```
CANCEL PRINT JOB
   YES     NO
```

LINEキーを押すとカーソルが移動します。

YESを選択し、FEEDキーを押すと印字データ及び受信バッファをクリアします。
NOを選択し、FEEDキーを押すとオンライン状態になります。

クリア後は、ブザーが3回鳴り、ディスプレイにつぎのように表示されます。

```
CANCEL PRINT JOB
   COMPLETED
```

▲エラーモード操作

「あれ？どうしたのかな？」で説明します。

▲ユーザーモード設定操作

ユーザモード設定操作のとき、プリンタの印字条件を設定するつぎの操作ができます。

○「DARKNESS RANGE」（濃度レンジ設定）
○「PRINT DARKNESS」（印字濃度設定）
○「PRINT SPEED」（印字スピード設定）
○「OFF SET」（基点補正）
○「ZERO SLASH」（ゼロフォント切替え）
○「JIS CODE」（漢字コード切替え）
○「KANJI MODE」（漢字フォント選択）
○「PROPOTIONAL PITCH」（プロポーショナルピッチ選択）

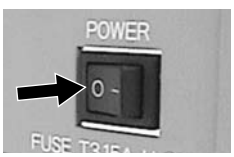
各操作については、詳しくは「印字条件の設定」をご覧ください。

▲ユーザーモード設定画面の呼び出し

本機の印字条件を設定するには、ユーザーモード設定画面を呼び出します。つぎに、各印字条件の設定画面を呼び出します。

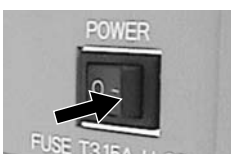
それでは、ユーザーモード設定画面を呼び出してみましょう。

まず、いったん電源を切ります。



LINEキーを押しながら電源を入れます。

LINEキーは、ブザーが鳴るまで押し続けてください（ブザーが鳴ったらキーから指を離してください）。



LINE

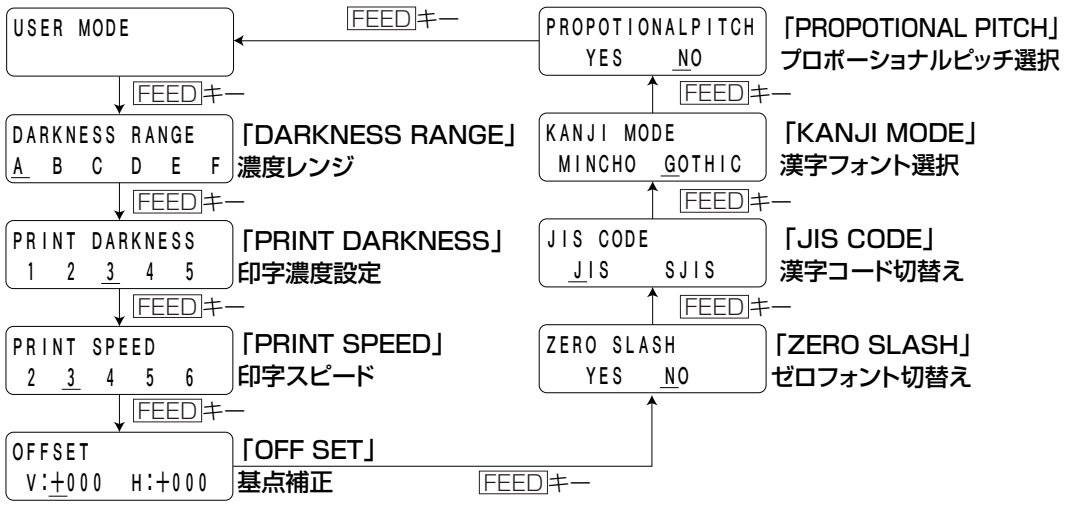
ディスプレイに、つぎのように表示されます。

```
USER MODE
```

表示がでたら、FEEDキーを押します。

FEED

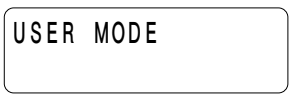
FEEDキーを1回押すごとに、ディスプレイの表示がつぎのように変わります。



印字条件の設定

ユーザーモード設定状態で、各印字条件の設定をしてみましょう。

設定する前に、本機がユーザーモード設定状態になっているか、ディスプレイの表示を確認してください。



ディスプレイの表示が、ユーザーモードになっていなかったら、いったん電源を切ってください。
LINEキーを押しながら、電源を入れ直してください。

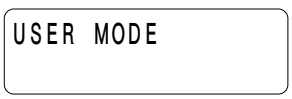
注意

設定の登録

各印字条件の設定を登録するためには、設定が終った後、FEEDキーを1回押してください。
設定が登録され、つぎの設定画面が表示されます。

FEED

FEEDキーを押さないかぎり、設定は記録されませんので注意してください。



FEED

FEEDキーを1回押します。ディスプレイにつぎのように表示されます。

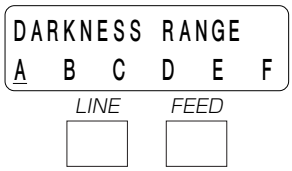
①印字濃度レンジ設定

印字濃度レンジを変更することでお客様ご使用の用紙種にあった印字品質を得ることができます。

Ａ＝MT400eシリーズにてご使用の用紙

Ｂ、Ｃ、Ｄ、Ｅ、Ｆにつきましては担当営業員にお問い合わせください。

ディスプレイの表示が、つぎのように表示しているか確認してください。



【操作のしかた】

ＡからＦまでは、印字濃度のレンジを表します。

カーソルのある値が、設定された濃度レンジになります。

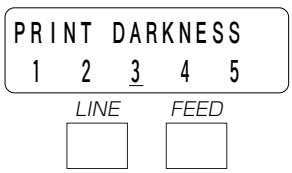
LINEキーを押すとＡ→Ｂ→Ｃ→Ｄ→Ｅ→Ｆ→Ａの順に移動します。

FEEDキーを押すと設定が登録され次の設定画面に変わります。

②印字濃度設定

印字の濃度（濃さ）を、5段階で設定できます。

ディスプレイの表示は、現在つぎのようになっています。



【操作のしかた】

1から5までの数字は、印字の濃度（濃さ）を表します。1が一番薄く、5が一番濃くなります。

LINEキーでカーソルを移動し、数字を選び、印字の濃度を選択します。

LINEキーを1回押すと、カーソルが数字1桁右に移動します。

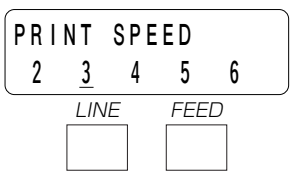
FEEDキーを押すと、設定が登録されつぎの設定画面に変ります。

③印字スピード設定

印字のスピード（速さ）を、5段階に設定できます。

用紙又は印字内容によって、良い印字品質が得られないときは、スピードを下げてください。

印字スピード設定画面が、つぎのようにディスプレイに表示されているか確認してください。



【操作のしかた】

2から6までの数字は、1秒間に何インチ（1インチ＝約25mm）印字できるかという印字のスピードを表します。

2インチ/sが一番遅く、6インチ/sが一番速くなります。

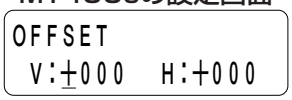
LINEキーでカーソルを移動し、数字を選び、印字のスピードを設定します。

FEEDキーを押すと、設定が登録されつぎの設定画面に変わります。

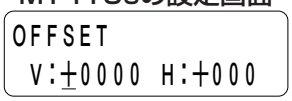
④基点補正設定

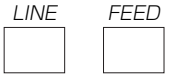
基点補正設定画面が、つぎのようにディスプレイに表示されているか確認してください。

MT400eの設定画面



MT410eの設定画面





基点補正

基点補正とは、用紙に印字する位置を設定する操作です。

本機には、最初から印字の基準となる位置（印字基準位置）が記憶されています。この印字基準位置からどれくらい離れた位置（基点）に印字するか設定します。

本機では印字基準位置から印字したい位置までの距離をドット単位で設定します。1ドットの長さは機種によって違います。MT400eは1ドット＝0.125mm、MT410eは1ドット＝0.083mmです。

したがってMT400eでは8ドット＝1mm、MT410eでは12ドット＝1mmとなります。

V：印字基準位置から、縦方向に何ドット離れた位置を基点にして印字するかを設定します。

“＋”と“－”は移動する方向です。

“＋”：印字方向に対し後

“－”印字方向に対し前

H：印字基準位置から、横方向に何ドット離れた位置を基点にして印字するかを設定します。

“＋”と“－”は移動する方向です。

“＋”：フレーム側（奥側）

“－”：カバー側（外側）

注意事項：ヘッドの密度により補正画面が異なりますのでご注意ください。

MT400e：V±000～400ドット

H±000～400ドット

MT410e：V±0000～1700ドット

H±000～400ドット

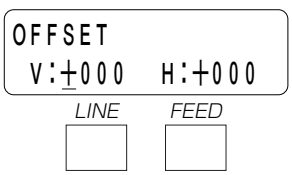
【操作のしかた】

1　基点位置補正操作

基点位置補正操作画面がディスプレイに表示されると、V（縦方向）の＋の下にカーソルがきています。

LINEキーを1回押すたびに＋と－に表示が変わります。

FEEDキーを押すたびにカーソルが移動します。



2　V（縦方向）の移動ドット数の設定

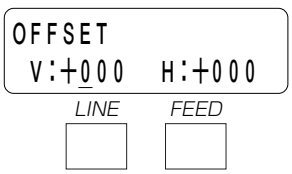
カーソルが、V（縦方向）の数字の下にあります。

LINEキーを1回押す度に数字が1つ上がります。

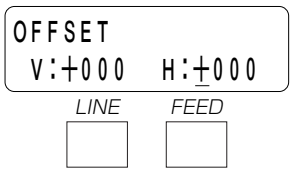
LINEキーを押して合わせたい数字に設定します。

FEEDキーを押して設定を登録します。

カーソルが、H（横方向）の“＋”の下にあります。

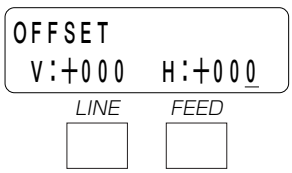


3　H（横方向）の移動方向の設定



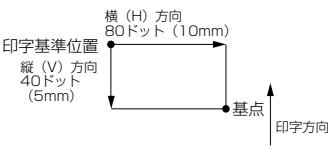
カーソルが、H（横方向）の“+”の下にあります。
LINEキーを1回押す度に“+”と“−”に変わります。
LINEキーを押して、移動したい方向に合わせます。
FEEDキーを押して、設定を登録します。
カーソルが、H（横方向）の数字の下に移動します。

4　H（横方向）の移動ドット数の設定



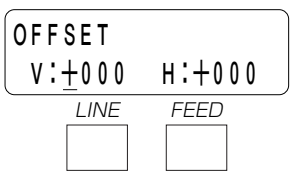
カーソルが、H（横方向）の数字の下にあります。
LINEキーを1回押す度に数字が1つ上がります。
LINEキーを押して合わせたい数字に設定します。
FEEDキーを押して設定を登録します。

【設定しましょう】

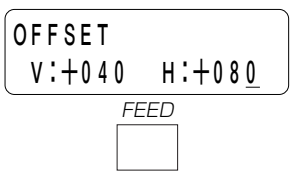


それでは実際に設定してみましょう。
印字基準位置から　縦（V）方向に+40ドット（5mm）
　　横（H）方向に+80ドット（10mm）
離れた位置を基点として、右の図のように印字することにします。

ディスプレイに、基点補正設定画面が表示されていることを確認してください。

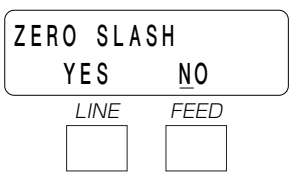


LINEキーでカーソルを移動し、LINEキーで設定を行い、次の画面表示にしてください。



FEEDキーを1回押します。
ディスプレイの画面は、ゼロフォント切替え設定画面に変わります。
これで基点補正の設定は終わりです。

⑤ゼロフォント切替え設定



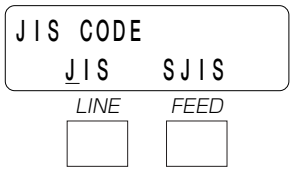
ゼロフォント（漢字は除く）を“0”又は、“Ø”に選択できます。
ゼロフォント設定画面が次のようにディスプレイに表示されているか確認してください。

【操作のしかた】

表示の“0”と“Ø”が印字するゼロフォントを表します。
LINEキーでカーソルを移動し、ゼロフォントを設定します。
FEEDキーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
ディスプレイの画面は、「漢字コード切替え設定画面」に変わります。
これでゼロフォント切替えの設定は終了です。

⑥漢字コード切替え設定

取り扱う漢字コードをJISコード、シフトJISコードに設定できます。
漢字コード切替え設定画面が、つぎのようにディスプレイに表示されているか確認してください。

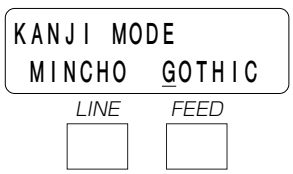


【操作のしかた】

表示の“JIS”、“SJIS”が取り扱う漢字コードを表します。
LINEキーでカーソルを移動し、漢字コードを設定します。
FEEDキーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
ディスプレイの画面は、「漢字フォント書体選択」に戻ります。
これで漢字コード切替えの設定は終了です。

⑦漢字フォント書体選択

印字漢字書体フォントの“ゴシック体”、“明朝体”を選択することができます。
漢字フォント書体選択画面がつぎのようにディスプレイに表示されているか確認してください。

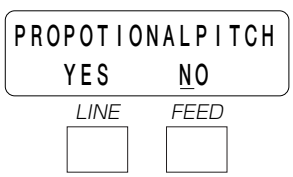


【操作のしかた】

表示の“MINCHO”、“GOTHIC”が漢字フォント書体を表します。
LINEキーでカーソルを移動し、漢字フォント書体を設定します。
FEEDキーを押すと設定が登録され次の設定画面に変わります。
ディスプレイ画面は、プロポーショナル設定画面に変わります。
これで、漢字フォント書体選択は、終わりです。

⑧プロポーショナル選択

プロポーショナルピッチ処理を選択することができます。
プロポーショナルピッチ処理の選択画面は、つぎのようにディスプレイに表示されているか確認してください。



対象フォントは、×21～24となります。

【操作のしかた】

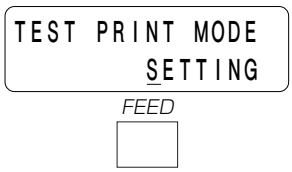
表示の“YES”（有効）、“NO”（無効）がプロポーショナルピッチ処理の有効、無効を表します。
LINEキーでカーソルを移動し、有効、無効を設定します。
FEEDキーを押すと設定が登録され次の設定画面に変わります。

これでユーザモード設定操作による、プリンタ設定が終了しました。ユーザモード設定を終了するには、一度電源を切ってください。
変更した設定値は、次に電源を入れることで有効となります。

▲テストモード操作

テスト印字をしてみましょう。

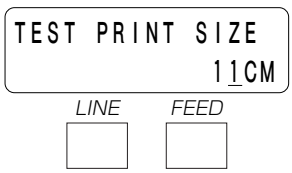
プリンタの電源が入っていたら、いったん電源を切ってください。
FEEDキーを押しながら、電源を投入します。
FEEDキーは、ブザーが鳴るまで押し続けてください（ブザーが鳴ったらキーから指を離してください）。
ブザーが鳴りディスプレイにつぎのように表示されます。



テスト印字パターンを選択します。
LINEキーを押すたびに表示がかわります。

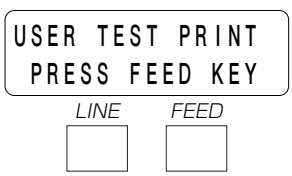
“SETTING”	本機設定内容を印字します。
“BARCODE”	本機に搭載しているバーコードを印字します。
“HEADCHECK”	選択している用紙サイズ領域のヘッドチェックパターンを印字します。
“MEMORY”	本機に搭載している拡張メモリー内容を印字します。
“FONT”	本機に搭載しているフォント内容を印字します。
“FACTORY”	工場テスト印字を行ないます。

LINEキーを押して印字したいパターンに合わせます。
FEEDキーを押します。



テスト印字の用紙サイズを選択します。
LINEキーを1回押すたびに数字が1つ上がります。
用紙サイズは、1cm単位になります。
4CM→5CM→6CM→7CM→8CM→9CM→10CM→11CM
FEEDキーを押します。（用紙サイズを決定します。）

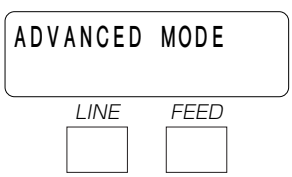
テスト印字を開始します。



テスト印字を止めるためには、FEEDキーを1回押します。
再度、FEEDキーを押すとテスト印字が再スタートします。
ユーザテスト印字モードを終了するには、プリンタの電源を切ってください。

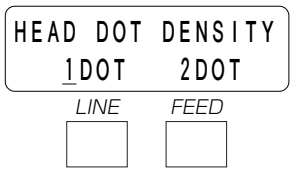
▲アドバンスドモード操作

ユーザモードからLINEキーを押しながら、FEEDキーを押します。
ディスプレイに次のように表示されます。

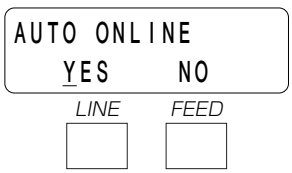


FEEDキーを押すと、ディスプレイに次のように表示されます。
※MT410eのみ表示されます。

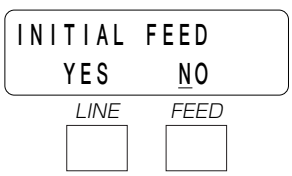
基本ドットサイズ1DOT（0.083mm）、2DOT（0.166mm）を選択することができます。
LINEキーを押すとカーソルが移動します。
FEEDキーを押します。（基本ドットサイズを決定します。）



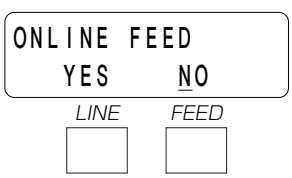
電源投入時に、自動でONLINE状態にするか選択を行うことができます。
LINEキーを押すとカーソルが移動します。
YES選択の場合、起動後、ONLINE状態になります。
NO選択の場合、起動後、OFFLINE状態になります。
FEEDキーを押します。AUTO ONLINE状態が決定され、ディスプレイに次のように表示されます。



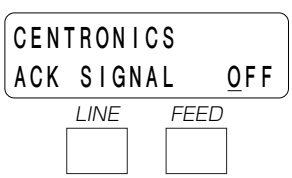
電源投入時に、必ず用紙フィード動作を行うかを設定することができます。
LINEキーを押すとカーソルが移動します。
YES選択の場合、起動後、用紙フィードを行います。
NO選択の場合、起動後、用紙フィードは、行いません。



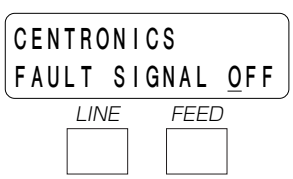
電源投入時の1回目のオンラインとヘッドオープン後のオンライン時に、必ず用紙フィード動作を行うかを設定することができます。
LINEキーを押すとカーソルが移動します。
YES選択の場合、起動後、用紙フィードを行います。
NO選択の場合、起動後、用紙フィードは、行いません。
FEEDキーを押します。ONLINE FEEDが決定され、ディスプレイに次のように表示されます。

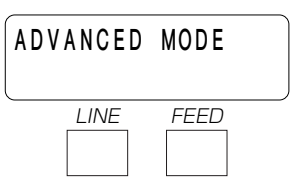


ACK信号の出力タイミング設定を行います。BUSY信号の内、又は終了後のどちらかを選択することができます。
LINEキーを1回押すとON状態に、もう一度LINEキーを1回押すとOFF状態になります。（ONの場合は、BUSY信号の終了後、OFFの場合は、BUSY信号の内側になります。）
FEEDキーを押します。ACK SIGNALが決定され、ディスプレイに次のように表示されます。



FAULT信号タイミングを設定します。FAULT信号をSELECT信号と同期する動作にするか、しないかを選択することができます。
LINEキーを1回押すとON状態に、もう一度LINEキーを1回押すとOFF状態になります。（ONの場合は、SELECT信号と同期します。OFFの場合は、非同期になります。）
FEEDキーを押します。FAULT SIGNALが決定され、ディスプレイに次のように表示されます。

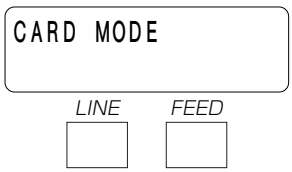




アドバンスモードを終了するには、プリンタの電源を切ってください。

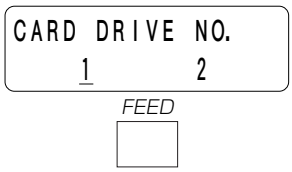
▲カードモード操作

アドバンスドモードから[LINE]キーを押しながら、[FEED]キーを押します。
ディスプレイに次のように表示されます。

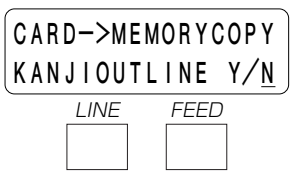


[FEED]キーを押すと、ディスプレイに次のように表示されます。

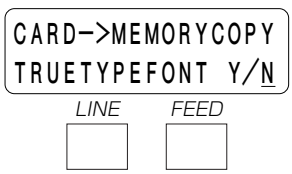
カードドライブのドライブ番号設定を行います。カードドライブをドライブ1（本体メモリをドライブ2）にするか、ドライブ2（本体メモリをドライブ1）にするかの設定を行います。
[LINE]キーを押すとカーソルが移動します。
1を選択すると、カードスロットが「ドライブ1」になり、本体メモリが「ドライブ2」になります。2を選択すると、カードスロットが「ドライブ2」になり、本体メモリが「ドライブ1」になります。
[FEED]キーを押します。設定内容を決定します。
ディスプレイに次のように表示されます。



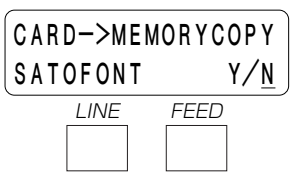
漢字アウトラインカードのコピーを選択します。漢字アウトラインカードを本体メモリへコピーします。
[LINE]キーを押すとカーソルが移動します。Nを選択すると、コピーを行いません。Yを選択すると、カードスロットに装着されたアウトラインカードを、本体メモリへコピーします。
[FEED]キーを押します。Yが選択された場合、コピーを実行します。
コピー終了後、ディスプレイに次のように表示されます。



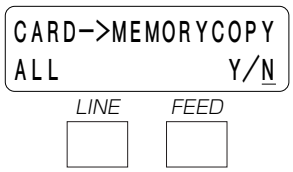
TRUETYPEフォントが収納されているカードから、TRUETYPEフォントデータを本体メモリへコピーします。
[LINE]キーを押すとカーソルが移動します。Nを選択すると、コピーを行いません。Yを選択すると、カードスロットに装着されたカードからTRUETYPEフォントデータを本体メモリへコピーします。
[FEED]キーを押します。Yが選択された場合、コピーを実行します。
コピー終了後、ディスプレイに次のように表示されます。



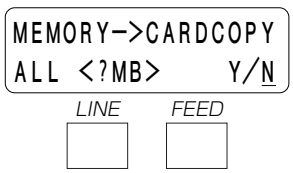
SATOフォントが収納されているカードから、SATOフォントデータを本体メモリへコピーします。
[LINE]キーを押すとカーソルが移動します。Nを選択すると、コピーを行いません。Yを選択すると、カードスロットに装着されたカードからSATOフォントデータを、本体メモリへコピーします。
[FEED]キーを押します。Yが選択された場合、コピーを実行します。
コピー終了後、ディスプレイに次のように表示されます。



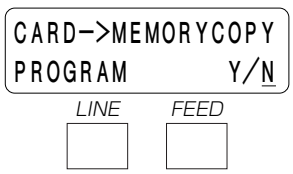
カードに収納されている全てのデータを、本体メモリへコピーします。
LINEキーを押すとカーソルが移動します。Nを選択すると、コピーを行いません。Yを選択すると、カードスロットに装着されたカードの全てのデータを、本体メモリへコピーします。
FEEDキーを押します。Yが選択された場合、コピーを実行します。
コピー終了後、ディスプレイに次のように表示されます。



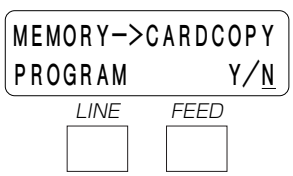
本体メモリに収納されている全てのデータを、カードへコピーします。
LINEキーを押すとカーソルが移動します。Nを選択すると、コピーを行いません。Yを選択すると、本体メモリの内容、全てをカードへコピーします。
FEEDキーを押します。Yが選択された場合、コピーを実行します。
コピー終了後、ディスプレイに次のように表示されます。



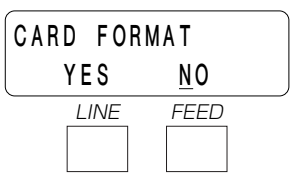
プログラムデータが収納されているカードから、本体メモリへコピーします。
LINEキーを押すとカーソルが移動します。Nを選択すると、コピーを行いません。Yを選択すると、カードスロットに装着されたカードからプログラムデータを、本体メモリへコピーします。
FEEDキーを押します。Yが選択された場合、コピーを実行します。
コピー終了後、ディスプレイに次のように表示されます。



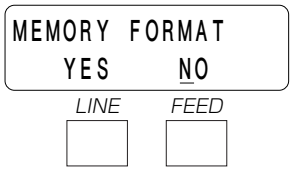
本体メモリに収納されているプログラムデータを、カードへコピーします。
LINEキーを押すとカーソルが移動します。Nを選択すると、コピーを行いません。Yを選択すると、本体メモリに収納されているプログラムデータをカードスロットに装着されたカードへコピーします。
FEEDキーを押します。Yが選択された場合、コピーを実行します。
コピー終了後、ディスプレイに次のように表示されます。



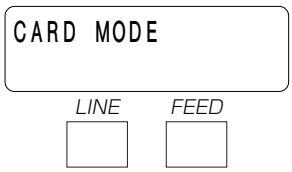
カードスロットに装着された、カードをフォーマット（初期化）します。
LINEキーを押すとカーソルが移動します。NOを選択すると、フォーマット（初期化）を行いません。YESを選択すると、フォーマット（初期化）を行います。
FEEDキーを押します。YESが選択された場合、フォーマット処理を実行します。
終了後、ディスプレイに次のように表示されます。



本体メモリをフォーマット（初期化）します。
LINEキーを押すとカーソルが移動します。NOを選択すると、フォーマットを行いません。YESを選択すると、フォーマット（初期化）を行います。
FEEDキーを押します。YESが選択された場合、フォーマット処理を実行します。
終了後、ディスプレイに次のように表示されます。



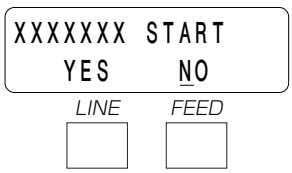
カードモードを終了するには、プリンタの電源を切ってください。

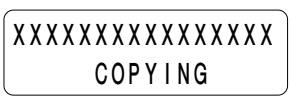


※コピー中のメッセージ

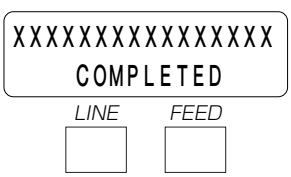
カードコピーを実行すると、ディスプレイに次のように表示されます。

LINEキーを押すとカーソルが移動します。NOを選択すると、コピーしません。YESを選択すると、コピーを行います。
FEEDキーを押します。YESが選択された場合、コピーを実行します。





コピー中



コピー終了

コピー終了後は、画面表示3秒後に元の選択画面に戻ります。

ご注意！

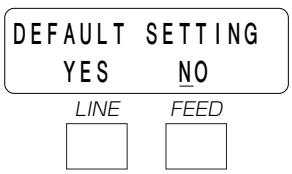
通常は使用しないでください。印字条件が変更されます。

初期値設定（デフォルトセット）

初期値とは、本機がはじめから記憶している設定値です。
この初期値設定をおこなうと、いままでの印字条件の設定値を本機が記憶している設定値に戻します。

【操　作】

LINEキーとFEEDキーを同時に押しながら、電源を入れます。
ブザーが鳴るまでLINEキーとFEEDキーを押し続けてください。
ディスプレイにつぎのように表示されます。



LINEキーを押してYESを選択後、FEEDキーを押すとデフォルトセットを行います。
デフォルトセットを終了するとブザーが3回鳴り、ディスプレイにつぎのように表示されます。

印字濃度レンジ・印字濃度・印字速度・基点補正・ゼロフォント切替え・漢字コード切替え・漢字フォント切替え・プロポーショナルピッチ設定の各設定値が次の初期値にもどります。

項　　目	MT400eシリーズ
印字濃度レンジ	A
印字濃度	3
印字速度	3
基点補正	+0
ゼロフォント切替え	NO
漢字コード切替え	JIS
漢字フォント切替え	GOTHIC
プロポーショナルピッチ設定	NO

▲ディップスイッチによる設定

操作部の下にあるディップスィッチは、プリンタの動作を決める重要なスイッチです。
間違えて設定しますとプリンタは正常に動作しません。
プリンタの動作を十分理解した上で、設定してください。

電源を切ってあることを確認してください。

ディップスイッチ表により設定したい条件にディップスイッチを設定します。
ディップスイッチの設定は、電源を入れ直したときに有効になります。

⚠ 注意

- メインカバーの開閉には、指をはさまないように注意してください。
- 詳しくは、販売店またはディーラーへお問い合わせください。

DIPSW2

	MT400eシリーズ　プリンタ　ディップ・スイッチ表	
NO	機　　能	説　　明
1	工場設定用	通常ＯＦＦ（変更しないでください。）
2	センサー設定	ＯＮ　：未使用 ＯＦＦ：反射式（アイマーク）
3	ヘッドチェック	ＯＮ　：有効 ＯＦＦ：無効
4	ＨＥＸダンプモード	ＯＮ　：有効 ＯＦＦ：無効
5	受信モード	ＯＮ　：1アイテム受信 ＯＦＦ：マルチ受信 ※ＬＡＮの場合は、ＯＦＦ→周期応答ステータス ＯＮ　→ＥＮＱ応答ステータス
6	ダウンロードモード	ＯＮ　；有効 ＯＦＦ：無効
7	工場設定用	通常ＯＦＦ（変更しないでください。）
8	印字領域設定	ＯＮ　：178mm（MT400/410互換モード） ＯＦＦ：400mm

DIPSW3

	MT400eシリーズ　プリンタ　ディップ・スイッチ表							
NO	機　　能	説　　明						
1	動作モード設定	3-1	3-2	3-3	3-4	センサー	モード	動作	バックフィード	
	（連続・ティアオフ・	OFF	OFF	OFF	OFF	有効	連続			
	カッタ・剥離）	ON	OFF	OFF	OFF	有効	ティアオフ			
		OFF	ON	OFF	OFF	有効	剥離	センサー	無し	
2		ON	ON	OFF	OFF	有効	剥離	センサー	有り	動作1
		OFF	OFF	ON	OFF	有効	剥離	パルス	無し	
		ON	OFF	ON	OFF	有効	剥離	パルス	有り	動作1
		OFF	ON	ON	OFF	有効	剥離	パルス	有り	動作2
		ON	ON	ON	OFF	有効	カッタ	シートエンド	無し	
3		OFF	OFF	OFF	ON	有効	カッタ	シートエンド	有り	動作1
		ON	OFF	OFF	ON	有効	カッタ	シートエンド	有り	動作2
		OFF	ON	OFF	ON	無効	連続			
		ON	ON	OFF	ON	無効	カッタ	シートエンド	無し	
		OFF	OFF	ON	ON	無効	カッタ	シートエンド	有り	動作1
4		ON	OFF	ON	ON	有効	カッタ	パルス	有り	動作1
		OFF	ON	ON	ON	有効	カッタ	パルス	有り	動作2
		ON	ON	ON	ON	無効	カッタ	パルス	有り	動作1
5	工場設定用	通常OFF（変更しないでください。）								
6	外部信号切替え	ＯＮ　－ＯＮ　：ＴＹＰＥⅠ								
7		ＯＮ　－ＯＦＦ：ＴＹＰＥⅡ								
		ＯＦＦ－ＯＮ　：ＴＹＰＥⅢ								
		ＯＦＦ－ＯＦＦ：ＴＹＰＥⅣ								
8	外部信号再発行	ＯＮ　：有効								
		ＯＦＦ：無効								

※通常は、網かけのしてある部分のみ指定してください。

「シートエンド」　印字動作、ラベルフィード動作後にラベルをカットします。
「パルス」　本機の後部にある「EXT（外部信号）」を使用して動作を行ないます。

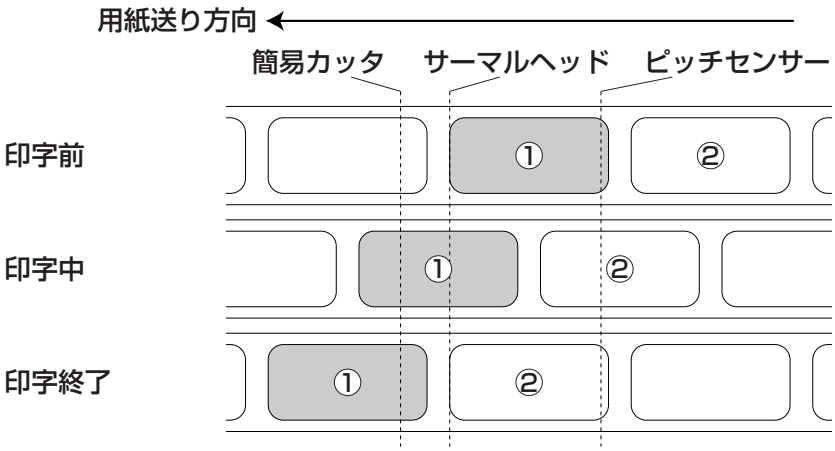
※詳細については、アクセサリCD-ROMのマニュアルを参照してください。

連続印字とティアオフ

本プリンタの動作モードでは、オプション（カッタや剥離）を使用しない動作モードとして、連続印字動作とティアオフ動作があります。

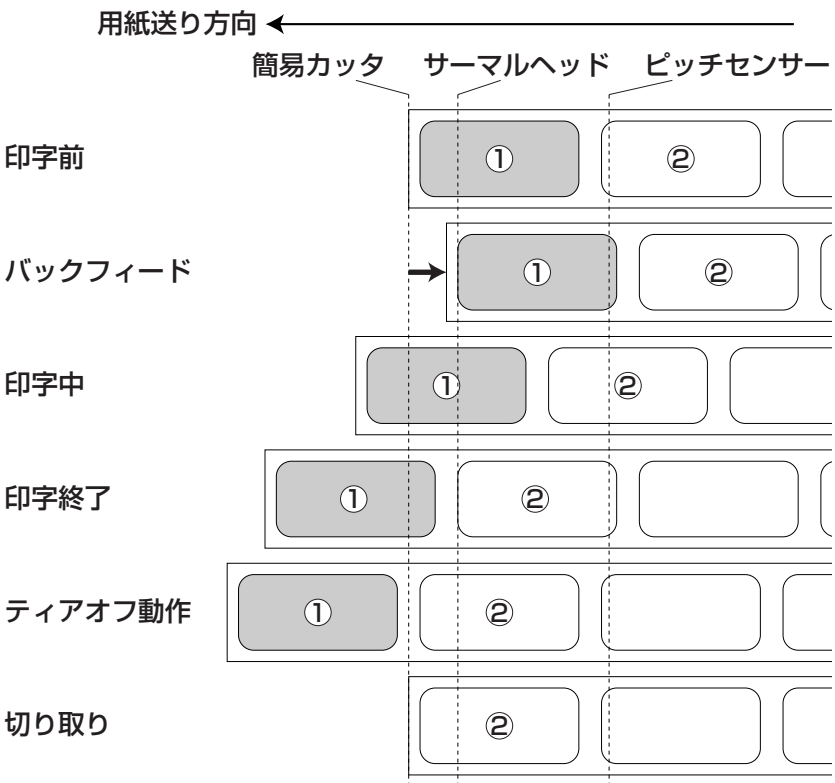
連続印字動作モード

連続印字動作モードとは、指定された印字枚数分を続けて印字するモードで、印字終了後、又は、1枚フィードの時には、次の印字開始位置がサーマルヘッド位置で停止します。



ティアオフ動作モード

ティアオフ動作モードとは、指定された印字枚数分を続けて印字した後、ラベルとラベルの間（台紙部）を簡易カッタの位置まで自動的に送り出します。
この動作により、印字終了後に手で簡単に用紙を切り取ることができます。
又、次の印字を行なう時には、用紙の先端がサーマルヘッド位置までもどり、印字を開始します。



○インタフェースボードの設定（RS-232C）

シリアルインタフェースボード（RS-232C）には、通信条件を決めるディップスイッチ（DSW1）があります。
ディップスイッチ（DSW1）を変更するためには、一度シリアルインタフェースボードを取り外す必要があります。

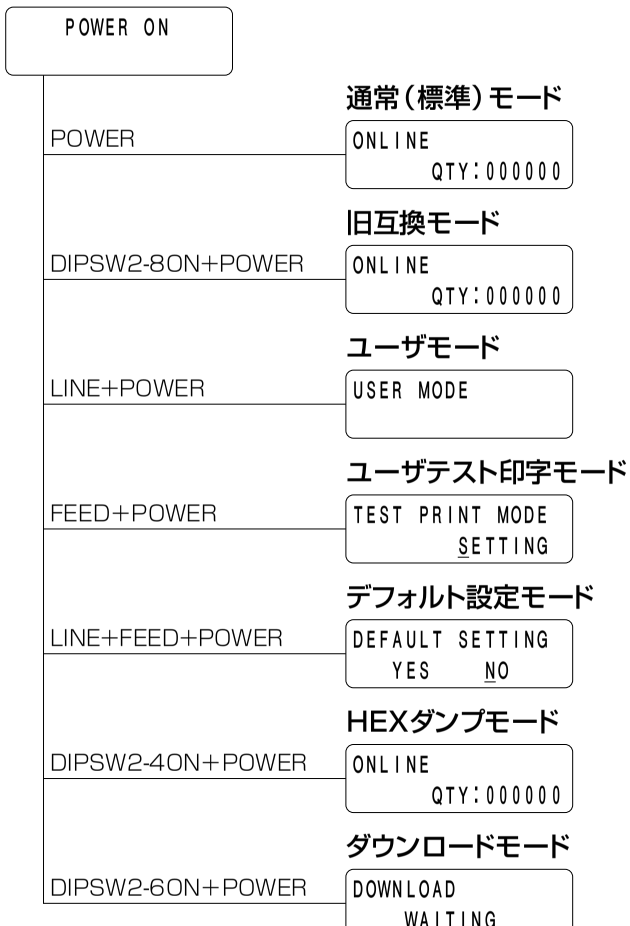
DIPSW1

	MT400eシリーズ　プリンタ　ディップ・スイッチ表		
NO	機　　能	説　　明	
1	データ長設定	ON　：7ビット	
		OFF：8ビット	
2	パリティビット設定	1-2　1-3	
		OFF　OFF：無し	
3		OFF　ON　：偶数	
		ON　OFF：奇数	
		ON　ON　：未使用	
4	ストップビット設定	ON　：2ビット	
		OFF：1ビット	
5	ボーレート設定	1-5　1-6	
		OFF　OFF：9600	
6		OFF　ON　：19200	
		ON　OFF：38400	
		ON　ON　：57600	
7	通信プロトコル設定	1-7　1-8　DIPSW 2-8 OFF	DIPSW 2-8 ON
		OFF　OFF：READY/BUSY	READY/BUSY
8		OFF　ON　：XON/XOFF	XON/XOFF
		ON　OFF：ドライバ専用プロトコル	ステータス3
		ON　ON　：未使用	未使用

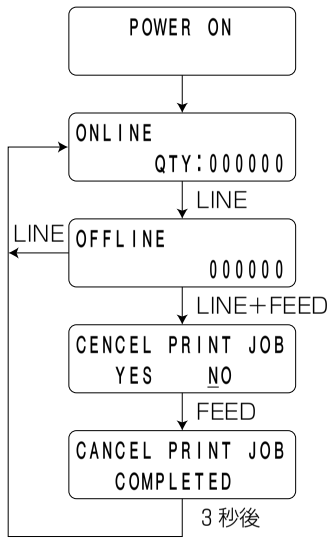
※シリアルインタフェースボードの設定シールを確認してください。

ディプレイ画面遷移図

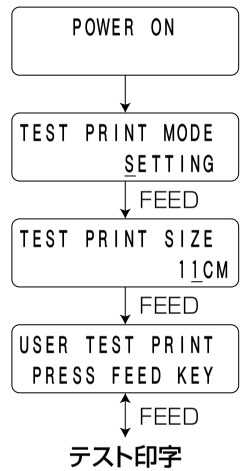
LCDモード一覧



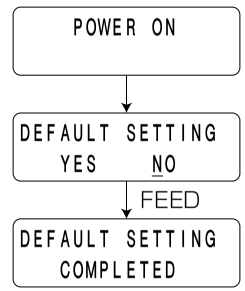
通常（標準）モード



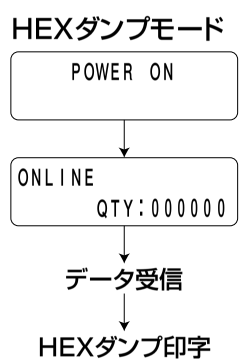
ユーザテスト印字モード



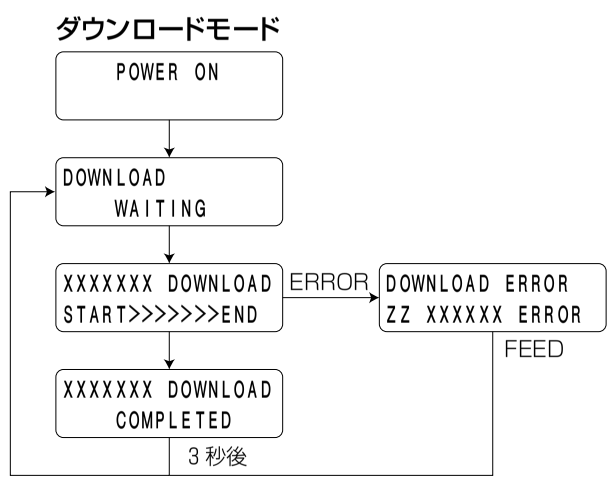
デフォルト設定モード

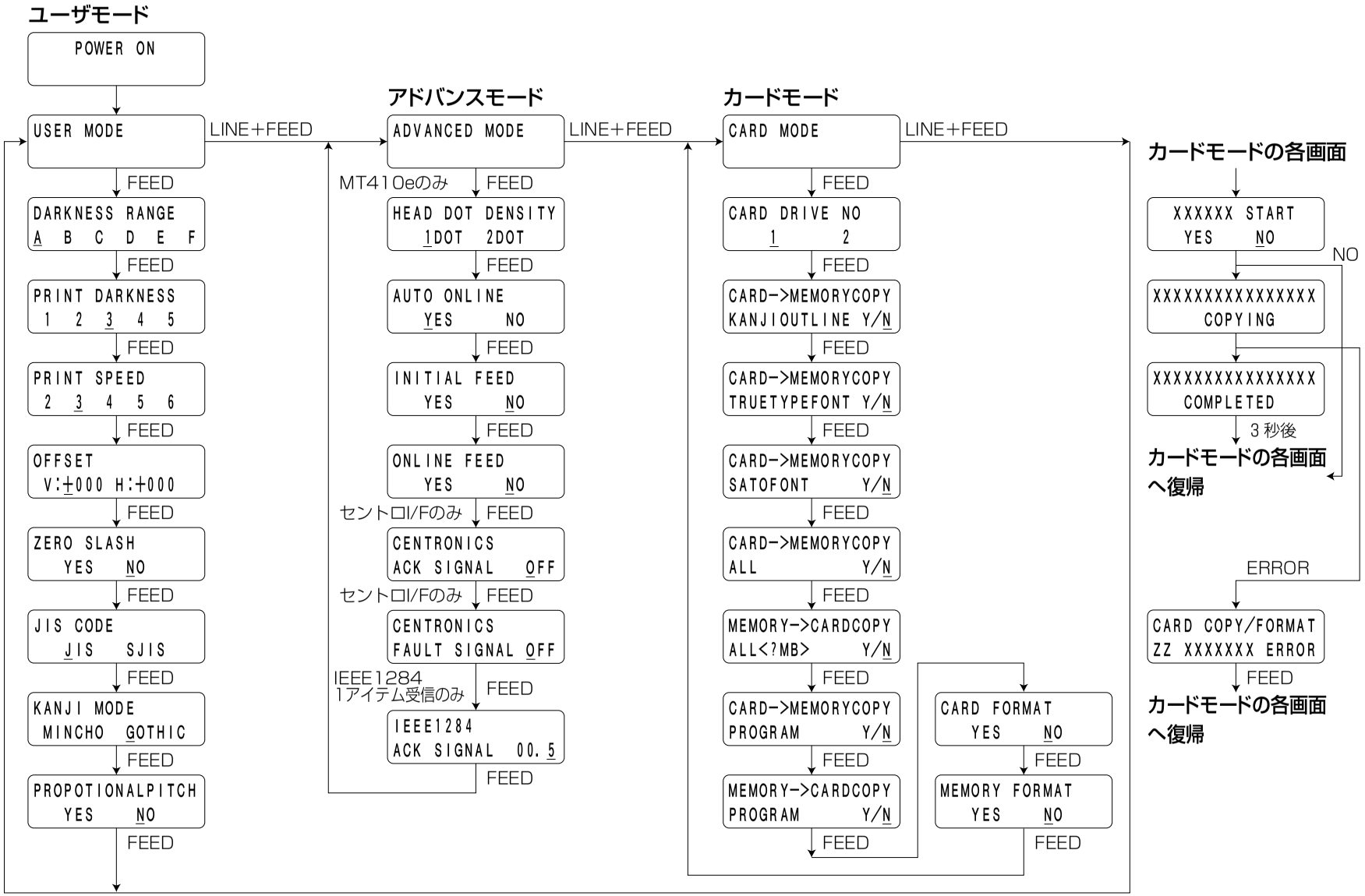


HEXダンプモード



ダウンロードモード




ユーザモード
POWER ON
USER MODE
LINE+FEED
FEED
DARKNESS RANGE
A B C D E F
PRINT DARKNESS
1 2 3 4 5
PRINT SPEED
2 3 4 5 6
OFFSET
V:±000 H:±000
ZERO SLASH
YES NO
JIS CODE
JIS SJIS
KANJI MODE
MINCHO GOTHIC
PROPOTIONALPITCH
YES NO
アドバンスモード
ADVANCED MODE
MT410eのみ
HEAD DOT DENSITY
1DOT 2DOT
AUTO ONLINE
YES NO
INITIAL FEED
YES NO
ONLINE FEED
YES NO
セントロI/Fのみ
CENTRONICS
ACK SIGNAL OFF
CENTRONICS
FAULT SIGNAL OFF
IEEE1284
1アイテム受信のみ
IEEE1284
ACK SIGNAL 00.5
カードモード
CARD MODE
CARD DRIVE NO
1 2
CARD->MEMORYCOPY
KANJIOUTLINE Y/N
CARD->MEMORYCOPY
TRUETYPEFONT Y/N
CARD->MEMORYCOPY
SATOFONT Y/N
CARD->MEMORYCOPY
ALL Y/N
MEMORY->CARDCOPY
ALL<?MB> Y/N
CARD->MEMORYCOPY
PROGRAM Y/N
MEMORY->CARDCOPY
PROGRAM Y/N
CARD FORMAT
YES NO
MEMORY FORMAT
YES NO
カードモードの各画面
XXXXXX START
YES NO
NO
XXXXXXXXXXXXXXXX
COPYING
XXXXXXXXXXXXXXXX
COMPLETED
3秒後
カードモードの各画面へ復帰
ERROR
CARD COPY/FORMAT
ZZ XXXXXXX ERROR
カードモードの各画面へ復帰

あれ？どうしたのかな？

ディスプレイにエラーメッセージが表示されたとき、本機はエラー状態になります。こんなとき、どうしたらよいか説明します。また、本機の操作をしていてうまくいかなかったときはこの章をお読みください。

▲エラーメッセージがでたけれど

ディスプレイにエラーメッセージを表示したとき、プリンタはエラー状態になります。こんなときどうしたらよいか説明します。
また、プリンタを操作していて、うまくいかないときもこの章をお読みください。

エラー番号	LCD画面	説　　明
01	MACHINE ERROR 01	マシンエラーの画面です。 原　　因：予想外のエラーです。 対　　策：販売店、ディーラー、またはサービスセンターにお問い合わせください。 警 告 音：長音１回 外部信号：マシンエラー
02	EEPROM ERROR 02	EEPROMエラーの画面です。 原　　因：EEPROM回数オーバー。 対　　策：販売店、ディーラー、またはサービスセンターにお問い合わせください。 警 告 音：長音１回 外部信号：マシンエラー
03	PARITY ERROR 03	パリティエラーの画面です。 原　　因：①RS232Cの通信条件が合っていない。 ②ケーブル接続異常。 対　　策：①通信条件を確認し通信条件を合わせてください。 ②ケーブルの接続を確認してください。 警 告 音：短音３回 外部信号：マシンエラー
04	OVERRUN ERROR 04	オーバーランエラーの画面です。 原　　因：①RS232Cの通信条件が合っていない。 ②ケーブル接続異常。 対　　策：①通信条件を確認し通信条件を合わせてください。 ②ケーブルの接続を確認してください。 警 告 音：短音３回 外部信号：マシンエラー
05	FRAMING ERROR 05	フレーミングエラーの画面です。 原　　因：①RS232Cの通信条件が合っていない。 ②ケーブル接続異常。 対　　策：①通信条件を確認し通信条件を合わせてください。 ②ケーブルの接続を確認してください。 警 告 音：短音３回 外部信号：マシンエラー
06	BUFFER OVER 06	バッファオーバーの画面です。 原　　因：①受信バッファを超えるデータを受信した場合。 ②通信プロトコルが合っていない。（制御信号やデータを無視し、ホストよりデータが送信された場合） 対　　策：通信プロトコルに合うようにシステムを修正してください。 警 告 音：短音３回 外部信号：マシンエラー
07	HEAD OPEN 07	ヘッドオープンの画面です。 原　　因：①ヘッドがロックされていません。 対　　策：①ヘッドをロックしてください。 警 告 音：短音３回 外部信号：マシンエラー

エラー番号	LCD画面	説　　明
08	PAPER END 08	ペーパーエンドの画面です。 原　　因：①用紙がありません。 対　　策：②用紙を正しくセットしてください。 警 告 音：短音3回 外部信号：ペーパーエンド
10	SENSOR ERROR 10	センサーエラーの画面です。 原　　因：用紙蛇行（用紙位置のセットが正しくありません） 対　　策：用紙搬送ルートの清掃を行ってください。 （用紙のセット位置を確認してください。） それでもメッセージが表示された場合は、販売店、ディーラー、またはサービスセンターにご連絡ください。 警 告 音：短音3回 外部信号：マシンエラー
11	HEAD ERROR 11	ヘッドエラーの画面です。 原　　因：ヘッドに異常があります。 対　　策：ヘッドの清掃を行い、再確認してください。 それでもメッセージが表示された場合は、販売店、ディーラー、またはサービスセンターにご連絡ください。 警 告 音：短音3回 外部信号：マシンエラー
13	CARD R/W ERROR 13	カードリード／ライトエラーの画面です。 原　　因：①カードが装着されていません。 ②登録されていない番号で呼び出しを行った時。 ③フォーマットされていない時。 ④カードプロテクト状態で登録を行った時。 対　　策：①カードを確認してください。 ②ホストのプログラムを確認してください。 ③カードのフォーマットを行ってください。 ④カードのプロテクトを外してください。 警 告 音：長音1回 外部信号：マシンエラー
14	CARD LOW BATTERY 14	カードローバッテリーの画面です。（起動時と使用時にチェックします。） 原　　因：①カード内の電池が消耗している時。 対　　策：①カード内の電池をすみやかに交換してください。 （カード内のデータが消去されるケースがあるので、カードのフォーマットと登録を行ってください。） 警 告 音：長音1回 外部信号：マシンエラー
15	CUTTER ERROR 15	カッタエラーの画面です。 原　　因：①カッタ部で用紙ジャムが発生した場合。 ②カッタ部のスリットが正しく動作しない。 対　　策：①カッタ部の清掃をしてください。 ②販売店、ディーラーまたはサービスセンターにご連絡ください。 警 告 音：短音3回 外部信号：マシンエラー

エラー番号	LCD画面	説　　明
16	DOWNLOAD ERROR 16 R/W　　ERROR	プログラム／フォントダウンロードエラーの画面です。 FEEDキーを押すとダウンロード待ち画面に戻ります。 ※下段表示エラー、“R/W”（16）、“NOTAREA”（17）。 原　　因：①ダウンロード中にリード／ライトエラーが発生した。 ②ダウンロード領域が無い。 対　　策：①ダウンロードファイルを確認してください。 ②ダウンロードファイルサイズを確認してください。 ③プリンタ内部の登録エリアを確認してください。 警 告 音：短音3回
17	DOWNLOAD ERROR 17 NOTAREA ERROR	
18	CARD COPY/FORMAT 18 R/W　　ERROR	カードコピー／フォーマットエラーの画面です。 FEEDキーを押すと元の選択画面に戻ります。 ※下段表示エラー、“R/W”（18）、“NOTCARD”（19）、“NOTAREA”（20）。 原　　因：①コピー中にリード／ライトエラーが発生した。 ②カードが装着されていない。 ③コピー領域が無い。 対　　策：①コピーファイルを確認してください。 ②カードを装着してください。 ③コピー領域（サイズ）してください。 警 告 音：短音3回
19	CARD COPY/FORMAT 19 NOTCARD ERROR	
20	CARD COPY/FORMAT 20 NOTAREA ERROR	

▲あれ？メッセージが無いのにブザー音が…

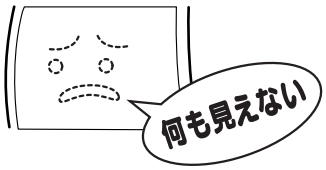
コマンド記述の誤り、又は印字領域指定が誤っています。

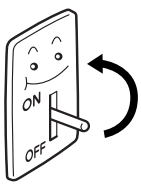
対応方法：プログラムを見直してください。

▲こんなときは？

本機の操作をしてもうまくいかなかったときは、つぎのことを確認してみてください。

電源を入れてもディスプレイに何も表示されない。

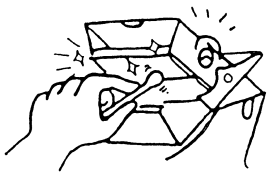
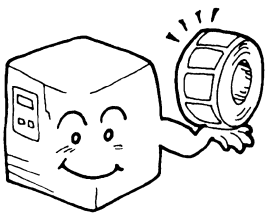


	【確認してください】	【直しかた】
1	電源コンセントに、電源コードがしっかりと差し込まれていますか？	電源コードを、コンセントにしっかりと差し込み直します。
2	本機に、電源コードがしっかりと差し込まれていますか？	電源コードを、本体の電源コネクタにしっかりと差し込み直します。
3	電源コードがいたんでいませんか？	電源コードを取り替えてください。 新しい電源コードは、本機を購入された販売店・ディーラーで必ず本機専用の電源コードをお求めください。本機専用の電源コード以外は絶対に使用しないでください。
4	本体のヒューズが切れていませんか？	本体背面にあるヒューズを確認してください。 ヒューズが切れていたら、市販の同等のヒューズと交換してください。交換後、再度切れた場合は、販売店、ディーラーまたはサービスセンターにお問い合わせください。
5	本機の電源を取っている電源コンセントに電気がきていますか？	電源コンセントのもと電源を調べてください。もと電源に問題がないときは、建物全体に電気がきているか調べてください。停電の可能性も調べてください。 
6	建物の電源ヒューズやブレーカーが切れていませんか？	建物の電源ヒューズを取り替え、ブレーカーを電源オンの位置に直してください。

注意

- 濡れた手で電源スイッチの操作やヒューズの交換、電源コードの抜き差しをしないでください。感電する恐れがあります。
- ヒューズを交換するときは、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

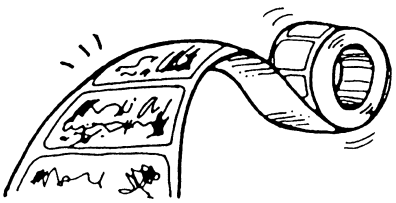
紙送りはするけど印字されない

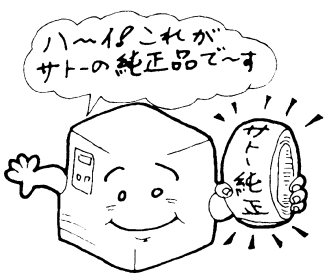
	【確認してください】	【直しかた】
1	サーマルヘッドが汚れていたり、ラベルが貼りついていませんか？	サーマルヘッドが汚れていたら、添付の清掃用具で汚れをふき取ってください。ラベルが貼りついていたらはがしてください。 ＊金属物での除去は避けてください（サーマルヘッドを傷つける恐れがあります）。 このとき、ラベルの接着剤がサーマルヘッドに付着していたら、添付の清掃用具でふき取ってください。 
2	本機専用の純正用紙を使っていますか？ 	本機専用の純正用紙を必ず使ってください。 
3	ピッチセンサーが汚れていませんか？	ピッチセンサーが汚れていたら、添付の清掃用具で汚れをふき取ってください。「毎日のお手入れ」をご覧ください。

注意

- 清掃は、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

きれいに印字しない

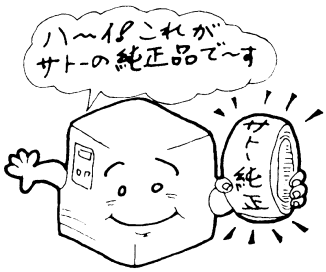


	【確認してください】	【直しかた】
1	用紙が正しくセットされていますか？	用紙がきちんと固定されているか調べてください。また、ヘッド部を持ち上げて、用紙が正常な位置にとどまっているか調べてください。
2	印字濃度が薄すぎたり、濃すぎたりしていませんか？	設定操作で印字濃度を設定し直してください。
3	プラテンローラが汚れていませんか？	プラテンローラが汚れていたら、添付の清掃用具で汚れをふき取ってください。
4	サーマルヘッドが汚れていたり、ラベルが貼りついていませんか？	サーマルヘッドが汚れていたら、添付の清掃用具で汚れをふき取ってください。ラベルが貼りついていたらはがしてください。 ＊金属物での除去は避けてください（サーマルヘッドを傷つける恐れがあります）。 このとき、ラベルの接着剤がサーマルヘッドに付着していたら、添付の清掃用具でふき取ってください。
5	汚れた用紙を使っていませんか？	きれいな用紙を使ってください。
6	本機専用の純正用紙を使っていますか？ 	本機専用の純正用紙を必ず使ってください。 

注意

- 清掃は、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

印字位置がずれる

	【確認してください】	【直しかた】
1	用紙が正しくセットされていますか？	用紙をきちんと固定してください。 また、ヘッド部を持ち上げて、用紙が正常な位置にとどまるようにセットし直してください。
2	プラテンローラが汚れていませんか？	プラテンローラが汚れていたら、添付の清掃用具で汚れをふき取ってください。
3	型くずれした用紙を使っていませんか？	用紙の周囲が型くずれしていると紙送りが正常にできません。新しい型くずれしていない用紙を使ってください。
4	本機専用の純正用紙を使っていますか？ 	本機専用の純正用紙を必ず使ってください。 
5	コンピュータから送られてくるデータ・信号の内容が誤っていませんか？	電源を入れ直してください。 それでもメッセージが表示されたら、コンピュータ側のソフトウェアの内容や通信条件の確認をしてください。
6	ピッチ補正（ボリューム）または、基点補正（ユーザーモード設定）の内容がおかしくありませんか？	ピッチ補正（ボリューム）または、基点補正（ユーザーモード設定）の内容を設定し直してください。

注意

- 清掃は、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

オプションについて

本プリンタではお客様のニーズにお答えできるように、次のオプションを用意しております。

オプションの種類

▲メモリカード

印字フォーマットやグラフィックデータなどを記憶させることができます。
メモリカードは、1M、2MバイトTYPE Ⅰ、Ⅱ（JEIDA Ver4.2/PCMCIA Ver2.1仕様準拠）SRAMカードを用意しております。

取り付け方

1．プリンタ背面のカードスロットカバーをマイナスドライバーを使用して外してください。
2．メモリカードをコマンドで指定されたスロットに差し込んでください。
コマンドで指定されていないスロットに差し込みますとエラーが発生します。
詳しくは、アクセサリCD-ROMのSBPLまたは「あれ？どうしたのかな？」を参照してください。
3．スロットの下にありますイジェクトボタンが少し飛び出てくるのを確認してください。

取り外し方

1．スロットの下にあるイジェクトボタンを押します。
2．メモリカードが少し飛び出ますので、メモリカードを引き抜いてください。

★ご注意

1．メモリカード取り付け、取り外しを行うときは、必ずプリンタ本体の電源を切ってから行ってください。メモリカードやカード基盤、プリンタ本体を破損する恐れがあります。
2．メモリカードには、TYPE Ⅰ、Ⅱ JEIDA Ver4.2/PCMCIA Ver2.1電池内蔵タイプをご使用ください。
3．スロットにカードが一枚もないときは、異物混入防止のためスロットカバーを取り付けてください。
4．スロットカバーと取り付けネジは、無くさないように保管してください。

▲漢字アウトラインフォントカード

漢字を拡大してギザギザが出ない、漢字フォントデータが記憶されております。
取り付け、取り外しはメモリカードの取り付け、取り外しを参照してください。

▲インタフェースボード

プリンタとコンピュータとのデータをやり取りするためのボードです。

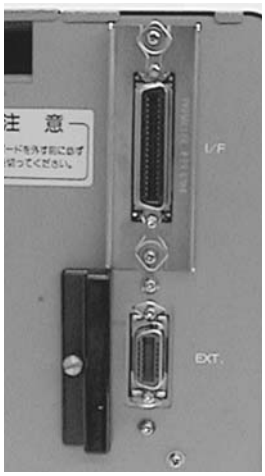
○パラレルインタフェースボード（IEEE1284）（オプション）

○シリアルインタフェースボード（RS-232C）（オプション）

○USBインタフェースボード（オプション）

○LANインタフェースボード（オプション）

※ご不明な点がありましたら、購入された販売店へご確認ください。



取付ネジ
インタフェースボード

⚠ 注意

インタフェースボードの取り付け取り外しを行うときは、必ず、プリンタ本体の電源を切ってから行ってください。
インタフェースボードやプリンタ本体を破損する恐れがあります。

▲ハクリタイプ（工場オプション）

プリンタにラベルと台紙をはがす、ハクリユニットを付けたタイプです。

▲カッタタイプ（工場オプション）

プリンタに用紙を1枚1枚カットする、カッタユニットを取り付けたタイプです。

毎日のお手入れ

本機は大切な情報を含んだバーコードや文字を印字するプリンタです。各部が汚れていると大切なバーコードや文字もきれいに印字できなくなるだけでなく、故障の原因にもなります。定期的に清掃してください。

▲お手入れの時期

お手入れの時期の目安は、次の通りです。

サーマルヘッド・プラテンローラ

用紙1巻おきあるいは用紙75メートル印字ごと

その他

用紙6巻おきあるいは用紙450メートル印字ごと

▲お手入れのときの注意

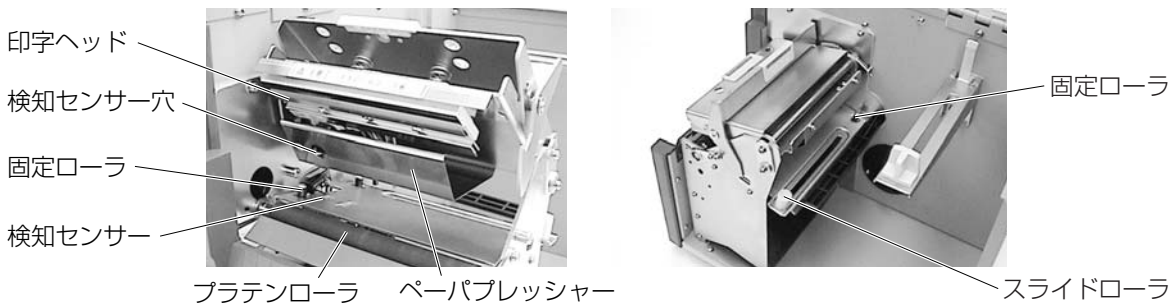
お手入れのとき、次のことに注意してください。

- 上の清掃時期は目安ですので、汚れの程度によって都合の良い時期に清掃してください。
- 各部の清掃には、綿棒や綿布をご使用ください。
- ドライバーなどの堅いものを使用して清掃すると、各部を傷つける恐れがあります。特にヘッド部の清掃には絶対に使用しないでください。
- 電源は必ず切ってからおこなってください。

▲お手入れのしかた

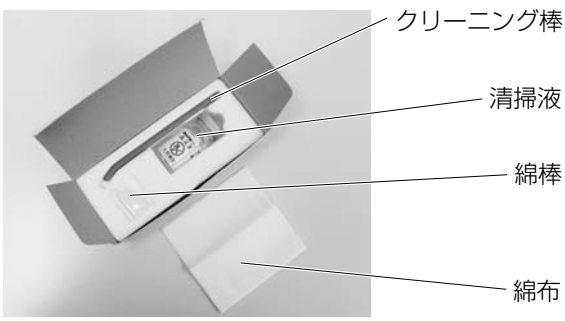
添付の清掃用具を使って、下記の部分を清掃してください。

サーマルヘッド部及びセンサー部



ラッピングシート

プリンタクリーニングセット



ラッピングシートの使い方は、ラッピングシートに添付しています。
「サーマルヘッド付着カス除去について」をご覧ください。

基本仕様

モデル名		MT400e	MT410e
ヘッド密度		8本/mm	12本/mm
印字方式		感熱方式	
本体メモリ		標準メモリ　2MB、拡張メモリ　4MB（2MB×2　標準装備）	
通信バッファ		最大　2.95MB（ニアフル　2MB）	
印字速度		2、3、4、5、6インチ/秒 注）但し、使用用紙によって印字速度を落とす必要があります。	
印字有効エリア		標準　：幅112mm×ピッチ400mm（DIPSW2-8OFF） 旧互換：幅112mm×ピッチ178mm（DIPSW2-8ON）	
用紙種類		当社製純正用紙を必ずお使いください。	
用　紙 サイズ	連　続	幅　　：37～128mm（台紙含み　40～131mm） ピッチ：25～397mm（台紙含み　28～400mm）〈DIPSW2-8OFF〉 ピッチ：25～356mm（台紙含み　28～359mm）〈DIPSW2-8ON〉	
	ティアオフ	幅　　：37～128mm（台紙含み　40～131mm） ピッチ：25～397mm（台紙含み　28～400mm）〈DIPSW2-8OFF〉 ピッチ：25～356mm（台紙含み　28～359mm）〈DIPSW2-8ON〉 注）使用条件によってサイズの制約が付きます。	
	カッタ	幅　　：37～128mm（台紙含み　40～131mm） ピッチ：25～397mm（台紙含み　28～400mm）〈DIPSW2-8OFF〉 ピッチ：25～356mm（台紙含み　28～359mm）〈DIPSW2-8ON〉	
	剥　離	幅　　：37～128mm（台紙含み　40～131mm） ピッチ：25～397mm（台紙含み　28～400mm）〈DIPSW2-8OFF〉 ピッチ：25～356mm（台紙含み　28～359mm）〈DIPSW2-8ON〉	
用紙形態		ロール紙：最大外径6インチ（約75m巻き）、裏巻き、紙管内径3インチ ファンフォールド紙：最大折り畳み高さ　100mm（本体外部より供給）	
インターフェース		インターフェースカードスロット（標準出荷時は I/F ボード無し）、EXT 注）インターフェースカードスロットはオプション機器の③～⑧が装着可能	
カードインターフェース		1スロット（SRAMカード：2Mbyte、フラッシュカード：16Mbyte）	
コマンド		SBPL　Ver2.0（SATO Barcode Printer Language）	
バーコード		UPC-A/E、EAN、JAN、CODE39、CODE93、CODE128、 UCC/EAN128、インターリブド2of5、インダストリアル2of5、 マトリックス2of5、NW-7、カスタマバーコード	
	2次元	QRコード　　（Ver8.1） PDF417　　（Ver2.4） ベリコード　　（Ver1.0） マキシーコード　（Ver3.0） データマトリックス（Ver2.0） ※ECC200のみ対応	

モデル名		MT400e	MT410e
フォント	内　蔵 フォント	8本/mm OCR-A　15×22　（数字、記号） OCR-B　20×24　（数字、記号）	12本/mm OCR-A　22×33　（数字、記号） OCR-B　30×36　（数字、記号）
		（共通） X20　5×9　（英数字、記号、カタカナ） X21　17×17　（英数字、記号、カタカナ） X22　24×24　（英数字、記号、カタカナ） X23　48×48　（英数字、記号、カタカナ） X24　48×48　（英数字、記号、カタカナ）	
	漢字ROM フォント	漢字　16×16　（JIS第一水準、第二水準）（角ゴシック体／明朝体選択可） 漢字　24×24　（JIS第一水準、第二水準）（角ゴシック体／明朝体選択可）	
アウトラインフォント		英数字、記号、カタカナ	
ラスタライザフォント		CGTimes　（英数字、記号） CGTriumvirate（英数字、記号）	
文字印字方向 （バーコード）		各データごとに、0°、90°、180°、270°の回転が可能。 （パラレル1、パラレル2、シリアル1、シリアル2のバーコードに対応。）	
バーコード比率		1：2、1：3、2：5、任意指定可能	
文字拡大倍率 （バーコード）		縦1倍～12倍、横1倍～12倍 バーコードの場合は、L1～L12	
各種機能		ステータス返送機能、グラフィック機能、連番機能、フォームオーバーレイ機能、 外字登録機能、文字補正機能、白黒反転機能、罫線機能、ダンプリスト機能、 フォーマット登録機能、アウトライン機能、アウトライン変形機能、 ラベルスキップ機能、ゼロスラッシュ切替え機能、JIS／シフトJIS切替え機能	
自己診断機能		ヘッド切れチェック、ペーパーエンド検出、ヘッドオープン検出、 メモリーカードエラー検出、テスト印字	
操作部		LCD　：16×2行　英数（バックライト付） スイッチ　：LINE、FEED ディップスイッチ：2個 ボリューム　：PRINT、OFFSET、PITCH	
ノイズ規格		VCCI　class B	
寸法、重量		261W×322D×285H（mm） 10.3Kg（標準）	
電　源		電圧　AC100V±10% 周波数　50／60Hz±5%	
消費電力		ピーク時　190VA　150W（待機時　30VA　20W）	
温度／湿度環境		使用環境　5～40℃／20～80%（但し、結露無きこと） 保存環境　−5～60℃／20～90%（但し、結露無きこと）	
オプション		①カッタユニット ②ハクリユニット ③RS-232Cインタフェースボード ④IEEE1284インタフェースボード ⑤USBインタフェースボード ⑥LANインタフェースボード （10BASE-T/100BASE-TX） ⑦漢字アウトラインカード ⑧カード（SRAMカード、FLASHROMカード） ⑨外部供給装置	

アフターフォローについて

サトーでは、お買い上げいただきましたサトーのシステム機器を、安心してご使用いただくために、保守サービス業務を行っております。
保守サービス業務について、ご説明します。

サービスの種類一覧表

	交換部品	技術料	出張費
保証期間内サービス	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償
保守契約サービス	契約料金に含みます	契約料金に含みます	契約料金に含みます
スポットサービス	そのつど有償	そのつど有償	そのつど有償

補修用部品の保有は、ご購入後より5年間とさせていただきます。

保守サービスの内容一覧表

出張保守	出向保守	故障が発生した場合、お客様のご要望により技術員を派遣し、故障の修復にあたります。
預かり保守	持込み保守	故障が発生した場合は用紙をセットした状態で、機器・故障ユニットを最寄りのサービスセンター・販売店へ、お客様により持ち込んで（運送して）いただいて、故障の修復にあたります。運送費はお客様負担となります。

保守サービスの説明

保証期間中の保守サービス

製品は１台ごとに検査し、お届けしていますが、安心してご使用いただくため、正常な使用のもとでの故障については、納入日より６ヵ月間の保証期間として無償修理を行っております。
機種により保証条件が異なることがありますので、くわしくは保証書をご覧ください。

保守契約サービス

保証期間が過ぎましても、安心してご使用いただくために「保守契約サービス」があります。

フルメンテナンスサービス

1. 目的

お客様とサトーが保守契約し、契約期間中の正常なご使用のもとでの修理故障は、この契約に基づき実施いたします。技術料、および修理に使用した交換部品は、保守契約料により充当されます。したがって、お客様にとりましては１年間一定の保守料で安心してご使用いただくことができます。

2. 保守契約料

保守契約料は、機器ごとにご使用状況別に年間の契約料をお見積りいたします。

保守契約サービスの期間

フルメンテナンスサービスは１ヵ年単位で契約し、解約のお申し出がない限り、４年間まで継続して契約することができます。４年をこえる保守契約サービスについては、別基準にしたがい個々にお見積りいたします。

保守契約の対象地域について

保守契約の対象地域に、サトー本社、支店、営業所、サービスセンターの所在地より半径80km以内といたします。対象地域外の場合は、遠隔地料を含む保守契約料により保守契約を申し受けます。
なお離島の場合は、交通費を含む保守契約料により保守契約を申し受けます。

スポットサービス

保守契約を申し受けていない場合、保証期間終了後、すべてスポットサービスを実施いたします。
故障時には、保守契約のお客様を優先して対応させていただきますので、修理に時間がかかることがございますが、ご了承ください。
スポットサービスを実施した場合、サービス料金表に基づき、保守料を請求させていただきます。そのつどお支払いくださるよう、お願いいたします。

銀行預金口座振込

お支払いには、振込手続が不要で便利な「銀行預金口座振込システム」のご利用をお勧めいたします。

登録データについて

修理を依頼される場合は、機械又はカード等に登録された各種データ・ソフト（フォーマット・プリセットデータ・印字ソフト等々）が、修復作業時に壊れる場合があります。（登録された各種データ・ソフトの保証は出来ません）
特に預かり・持込み保守におきましては、お客様で予め別途保存されることをお勧めします。修理の完了した機器の受け取り時に登録データの確認または再登録をお願いいたします。
機械修復作業時にデータ・ソフト等の復旧ができない場合がありますので、予めご了承ください。

DCS & Labeling

SATO

株式会社 サトー

＊Q00198000＊